

JARL三重

発行：平成20年11月2日
日本アマチュア無線連盟三重県支部



平成19年度支部大会 (南牟婁郡紀宝町生涯学習センターまなびの郷で開催)



昨年度の支部大会思い出は熊野無線クラブより記事となっていますので表紙の写真と共にご覧下さい。この冊子は支部経費節減のため手作りとなっております。ご了承下さい。

平成20年度三重県支部大会 【三重県 ハムフェスティバル2008】

日時:平成20年11月 2日(日曜日)10:00 ~ 15:30
 場所:多気郡多気町相可1587-1 多気町民文化会館

《 プ ロ グ ラ ム 》

1. 受付 (玄関ロビー) 9:30~14:00
2. 式典および表彰式 (多目的ホール) 10:00~10:45
 支部長挨拶 来賓祝辞 祝電紹介
 東海QSOコンテスト・三重33コンテスト
3. 講演会 (多目的ホール) 10:45~11:45
 「公益法人改革によるJARLの取り組みと課題について」
 講師: JARL事務局長 大橋 達夫 氏
4. 講演会 (多目的ホール) 12:45~13:20
 「米国の電波事情」
 講師: 西谷 正己 /JJ2TUF 氏 高野谷 久 /JE2WVD 氏
5. クラブ・展示者紹介 (多目的ホール) 13:20~13:50
6. アマチュア無線に役立つロープの結び方 (多目的ホール) 13:50~14:35
7. 記念撮影 (玄関前) 14:35~14:45
8. お楽しみ抽選会 (多目的ホール) 14:45~14:25
9. 各種展示 (多目的ホール・展示室・玄関ロビー) 10:45~14:30
 ・クラブ紹介 ・防災ネット ・測定、技術相談、JARL ・Voip
 ・野尻抱介(SFと無線の世界) ・ハムショップ ・ジャンク市 ・監査指導
 ・MCTV ・なんでもひとこと ・喫茶コーナー
10. 閉会式および次期開催地紹介 (多目的ホール) 15:25~15:30

- ご案内: DX 愛好家による「DX ミーティング三重」を開催します。
 日時:平成20年11月2日(日)11時45分から12時45分
 場所:多気町 町民文化会館 1階 第1講義室
 内容: J02SLZ 平松さんによる「VKからの運用報告」及び各局の近況報告の予定

No	項目	9	10	11	12	13	14	15
1	受付							
2	式典・表彰式							
3	講演会 「公益法人改革によるJARLの取り組みと課題について」							
4	講演会 「米国の電波事情」							
5	クラブ・展示者紹介							
6	アマチュア無線に役立つロープの結び方							
7	記念撮影							
8	お楽しみ抽選会							
9	各種展示							
10	閉会式							

ごあいさつ

みなさん三重県ハムフェスティバル2008に、ようこそ多気町へ。

今年の大会は、ここ多気町民文化会館での開催となります。多気町はシャープなどの大手企業が進出して元気になり、人口も急増している県内でも有数の地区です。

アマチュア無線の分野でも、多気町の方々は北に隣接する松阪市のハムと共に交流を密にし活発にご活躍をされています。この会場も、昨年では総務省関連団体による子供向け電波教室、さらに今年の12月には JST(科学技術振興機構)による「モリコロ電波教室」が予定されており、多気町教育委員会をはじめとする多くの方々にもお世話になっております。

さて、県内でのアマチュア無線活動も防災関連や技術製作教室などを含めた幅広いボランティア活動も目立ってきており、9月の防災の日に実施した「非常通信訓練」でも自主的に多くのアマチュア無線家をご参加頂き、その方向は益々活性化する勢いです。

今年の大会の特徴は、会員のみならず一般アマチュア無線家にも積極的に参加頂く、境界の無い内容となるように心掛け、防災ボランティア活動や昨今話題である VoIP(voice over IP:インターネットを使用して音声データをやりとりする技術)などの紹介も披露していただきます。また、会員には比較的分かりにくい「特定法人化移行問題」を取り上げミニ講演会という形で JARL 東京本部から大橋事務局長をお招きしました、加えて JARL 副会長である JH2XPV 杉山正さんにもオブザーバー参加を頂いております。

短いひと時ではありますが、会場内を隅々までご覧頂き、アマチュア無線に有効な何か「ひとつ」を掴んでお帰り下さい。また、ロビーでは久しぶりにお会いされた方々ともゆっくりと珈琲などを飲みながらくつろいで頂けることと思います。

最後に、本大会開催に当り早くからご準備頂いた関係者の方々に感謝すると共に、来年もさらに多くの方々と元気にこの大会でお会いできることを願っております。

三重県ハムフェスティバル2008実行委員一同

● アマチュアコード

1. アマチュアは、良き社会人であること

法を守り、マナーを身につけ、JARL とともにアマチュア無線の発展に努力する。

1. アマチュアは、健全であること

アマチュア無線は、趣味であり、仕事、学業、家庭をおろそかにしない。

1. アマチュアは、親切であること

通信には友愛の心を、初心者には親切な指導を、社会へは奉仕をおしまない。

1. アマチュアは、進歩的であること

常に科学的な進歩を求め、能率的で有効な通信ができるようにする。

1. アマチュアは、国際的であること

アマチュア無線を通じて諸外国に友を求め、国際親善に寄与する。

この度は、平成20年度三重県支部大会にご来場いただきまして、ありがとうございます。
大会実行委員長などという大層な名前に困惑しているのが、正直な気持ちです。

アマチュア無線も以前の姿からずいぶん変わったと思います。遠い昔になりますが、過去開催された地元「松阪の支部大会」や全国大会を伊勢で開催した「パール総会」などを思い出します。とにかくアマチュア無線の集まりには活気があり、若者が多数参加して、「家族全体で楽しむアマチュア無線」全盛の時代でありました。

近年、感じていることがあります。それは、あと10年後のアマチュア無線です。現在この大会に参加頂いている方にすべて10歳年齢が加わります。新しい若者が新たにどの位増えているのでしょうか。さらに、この支部大会が開催できる程、「無線に対して熱い想いを持った仲間」がどの位の人数存在するのかを想像すると疑問符がちらつきます。現在、アマチュア無線電波を受信すればU・VHFについてはアマチュア無線を話題とする通信や無線技術に関する内容は少なくなり、聞こえて来るのは平日の通勤時間帯でのモービル運用、仕事で移動中の通信が殆どです。過去の全盛期にはこのような時間帯だけでなく、自宅からの運用で夜中まで友人たちと地域の仲間がアマチュア無線の話題を中心とするラグチューを楽しむ夜があり、また学生達は、ある周波数に集まり、それぞれ自分の学校での出来事（無線クラブのこと）など学校を超えて、地域に広がる無線のコミュニティーが存在し、空を賑やかせました。またベテランのOM達は技術論議に花を咲かせて深夜まで語りあったりもしていました。

現在は、無線局の局数が激減し、また無線の会話の内容も変わったように思います。現在と当時とで何が変わったのでしょうか・・・？。そこには社会の人間の繋がり方も変わったと思いますが、「携帯電話の普及」が最大の理由にあると考えられます。携帯電話は免許が不要で通信操作が容易、ロケーションなど考えなくてもどこでも安価で確実に会話を交わす事が出来てしまいます。通信の信頼性や秘匿性も高く用件を伝達するにはこれに勝る物はありません。携帯電話の出現によるアマチュア無線局数が激減したと言う事実は明らかですが、その背景として「多くのアマチュア無線家が、アマチュア無線というツールを、会話の伝達という目的にのみ使用していた事」を意味します。

通信の便利さという点でアマチュア無線と携帯電話を比較してその優劣を評価する人が私の周りにも多く存在します。しかしそれは「全く異次元の内容を比較して語っている」ことだと私は思います。携帯電話の場合、会話を成立させるため多数の携帯基地局が準備され膨大な通信ネットワークシステムが構築されています。携帯電話端末を起動させれば、想像できない程の複雑なそのシステムが背後で連動し通信を確立させます。当然、快適な通信ができて当たり前なのです。それは結局ただ単に電気通信事業者の装置をお借りしただけなのです。アマチュア無線を語る場合、携帯電話と比べて・・・と語る無線家は「他人と会話できるという会話にのみ興味がある訳です」故に「本物のアマチュア無線の楽しみ方を経験していないからこそ言える産物」だと思います。アマチュア無線は自分の無線機器やアンテナさらに電波伝搬を予測して行われて、全く他人の通信設備に依存するのではなく、自分自身で構築した手作りの通信だと言えます。そのアマチュア無線の経験や努力の中にはアマチュア無線にしか体験できない素晴らしい内容が数多く存在します。挙げればきりが無いのですが、一口に言うならば「アマチュア業務」と言う言葉がこのすべてを包括するのでしょうか。

「金銭上の利益のためでなくもっぱら個人的な無線技術によって行われる自己通信訓練および技術的研究の業務」という言葉がそれです。どこかで聞いた言葉ですね。

この会場にご参加頂いた皆さんについては、この言葉のどこかの部分に間接的また直接的に何らかの形で引きつけられた方であると思います。アマチュア無線は、「アマチュア無線でこそ楽しめる体験やその内容」を感じてこそ、「末永く続けられる趣味」だと思います。その楽しみ方をより多くの方に発見して欲しいと何時も思うのです。人は、様々な価値観があります。アマチュア無線の楽しみの中で、どれがそうであるとは言えませんが、「アマチュア無線でなくては味わえないもの」を見つけ、この趣味の夢や感動を体験してもらいたいのです。また、この無線電波を使って味わえるアマチュア無線ですが、今割り当てられている電波というのは貴重な資源です。またこのことも意識して大切にしたいと思っています。

日本のアマチュア無線は現在の姿に至る過程で何かを掛け違ってしまったように感じます。今、他人に自分の趣味を「キングオブホビー」という言葉で自信を持って表現することをあなたは出来ますか。この表現を躊躇する存在になってはいませんか。

アマチュア業務という内容と今アマチュア無線電波を使う側の求める意識の開きが大きく、アマチュア無線の素晴らしい特色が薄れつつあります。また、子供たちの理科離れも手伝い、その内容から若い世代を引き付ける機会も少なくなっています。この先に日本のアマチュア無線がどのように展開するのか大きく不安を感じます。

この素晴らしい趣味を次世代に伝える方法を模索し、早急にその対策を打たなければ、行く末には現在我々が活動している周波数空間はもう無くなるのが容易に推測できるでしょう。

我々一人ひとりの意識も当然大切ですが、電波行政を担当頂いている方々や本部連盟関係の方々には「過去からの日本のアマチュア無線が残した足跡を振り返り、諸外国の第一、第二地域などの姿も参考に、その問題点を洗い直し」、将来のあり方、本来のアマチュアとして進むべき方向などを真剣に議論頂き将来に向けて「健全なアマチュア無線が末永く存続」できるように、宜しくお願ひしたいです。

最後に乱文で、また高い視点から偉そうな表現をしてしまった事をお許し頂き、挨拶とさせていただきます。文末までお読み頂きありがとうございます。

● 過去の支部大会開催地

昭和49年 鈴鹿市（青少年スポーツセンター）・昭和50年 松阪市（松阪ハイツ）・昭和51年 鈴鹿市（青少年スポーツセンター）・昭和52年 伊勢市（県立スポーツセンター）・昭和53年 津市（県合同ビル）・昭和54年 松阪市（松阪ハイツ）・昭和55年 尾鷲市・昭和56年 鈴鹿市・昭和57年 松阪市・昭和58年 亀山市・昭和59年 伊勢市（神宮皇學館）・昭和60年 熊野市・昭和61年 菰野町・昭和62年 志摩町・昭和63年 鷲殿村・平成元年 松阪市・平成2年 名張市（名張市総合体育館）・平成3年 津市（津リージョンプラザ）・平成4年 菰野町（朝明高原）・平成5年 尾鷲市（尾鷲市民文化会館）・平成6年 飯高町・平成7年 紀和町・平成8年 鈴鹿市（鈴鹿市文化会館）・平成9年 明和町（明和町総合体育館）・平成10年 鳥羽市（鳥羽市商工会議所会館）・平成11年 御浜町（御浜町中央公民館）・平成12年 東員町（東員町総合文化センター）・平成13年 芸濃町（芸濃町総合文化センター）・平成14年 津市（サンワーク津）・平成15年 芸濃町（芸濃町総合文化センター）・平成16年 三雲町（ハートフルみくも）・平成17年 志摩市（阿児アリーナ）・平成18年 御園町（ハートプラザみその）・平成19年 紀宝町（生涯学習センター）

今年は大きな台風の被害もなく例年であれば台風情報を聞く度にアンテナを心配していました。

さて、「アマチュア」と言う言葉は我々にとっては耳慣れた言葉です。しかし、本来のアマチュアとは？百科事典によりますと、アマチュアは、ある分野において一定以上の経験や知識を持っているが知識や技術が専門的な水準にないことや、そのような状態の人を指す。当該分野における活動の動機づけを形づくる精神活動が趣味性、規範性などを中核とする場合、これを汎くアマチュアリズムと呼ぶ。これをして活動の信条又は集団の綱領とする場合は知識や技術に関係なくアマチュアに分類される。職能人または職能集団としてのプロフェッショナルと比較したり、全くの技量の優劣を以て「アマチュア」と呼ぶ場合もある。略して「アマ」。素人（しろうと）とも言う。20世紀においては理論と実務の間で大きな役割を果たし特に無線やパーソナルコンピュータの発展において著書。この経緯からアマチュアの存在に対して敬意を払う文化もある。別の分野から探ってみるとパチンコやパチスロでは「素人さん」と呼ばれ、プロに対する対語として用いられる。この業界では、正業に就いているか否かにかかわらず、攻略法に精通して立ち回る人種をプロと呼んでいます。

そこで、アマチュアを我々の無線に結びつけてみると「アマチュア無線は、その免許に関係なく、世代を問わずに楽しめる趣味である」と言う概説があります。条約・法律上の定義からすると「個人的な無線技術の興味によって行う自己訓練、通信及び技術研究の業務」と定義がされています。このような社会的観点はさておき、アマチュア無線を楽しむ人々は「純粋な遊びとしていても、異国も含む見知らぬ相手との対話を求めるアマチュア無線には格別のロマンがある」と主張している（ヨルダンの故フセイン1世、モナコの故レーニエ3世もハムだった。俳優など芸能人、著名人にも多数います）。さらに、インターネットに比べてアマチュア無線は法律上、発言者の身元保証や通信内容について厳格に規定されており（虚偽の通信の禁止と罰則規定—電波法第106条）、法的には通信内容の正確性が担保されているにもかかわらず、現在の我が国ではアマチュア無線家は減少傾向にあります。これには次のような理由も考えられます。

- ・ 特定の相手との実用的な通信をしたい人は、購入するだけで簡単に使用出来る携帯電話を使用する
- ・ 見知らぬ相手や外国と交信をしたい人は、アマチュア無線よりも簡便なインターネットを利用する

これらに比べて、アマチュア無線は免許の取得や監督官庁への開設手続きが必要であるなど、始めるまでのハードルが高い。さらに、アマチュア無線をする人々が「ロマン」と感じる事柄に関しても、日本国内では「暗い」「意味がない」というイメージが浸透しているのも原因の一つと考えられます。秋葉原などを中心に日本各地に存在した、アマチュア無線関連の専門店の閉店が相次ぎ大手家電販売店も、収益の悪化しているアマチュア無線家部門から撤退する、あるいは開店当初から扱わないといった状況があります。この様にアマチュア無線を取り巻く日本国内の環境は明るいものではありません。最後にルールを守らない運用の問題があります。アマチュア無線の運用には「無線従事者」の免許および「無線局の免許」の2種類が必要である事は言うまでもありませんが、相変わらず144メガや430メガ帯において不法無線局の運用が多い。無線局の免許を受けた局であっても、指定された周波数以外での運用やオーバーパワーさらに、アマチュア無線を仕事やイベント業務に用いる例は多々見られる（目的外通信）。その他にバンドプランを逸脱した運用、コールサインの不送出、特に思うのは長時間にわたる周波数の独占（レピータ運用も含む）など、運用上の解決しなければならない課題が山積みしている事も否めません。

ごあいさつ

東海地区評議員
JA2HVO 岡田哲夫

本日ここ多気町で、平成20年度の三重県ハムフェステバル・支部大会が多くのハム仲間、ご家族、ご来賓の方々がお集まりいただき盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

私たちのアマチュア無線は国家資格が必要な趣味で、年齢・性別を問わず、色々な職業、身分や国を越え、無線を通じ人々と語り合い、知り合い、自己訓練と技術向上そして社会貢献に洗練する素晴らしい趣味で、かつては、キングオブホビーといわれていましたね。でも最近は死語がしているのは寂しい限りです。

近年、防災ボランティアなど地域への活発な社会活動に参加される方々が多数おられ、社会の為少しでもお役に立てたらと活躍されている事に敬意を表します。

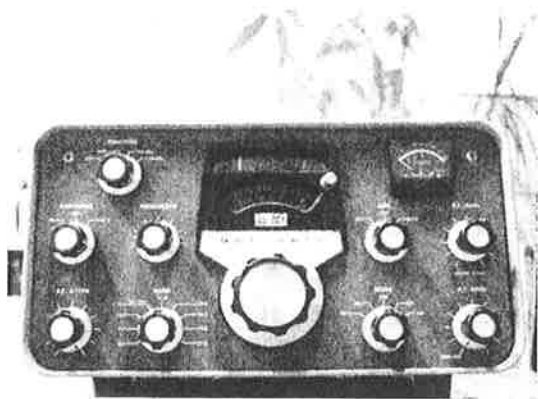
一方、これまでも幾度と折に触れ言われている無線交信のマナーの悪さ、品位がないと言う批判が一向に改善されません。特にレピーターでの、交信を妨害する無言送信・音楽を流す・暴言を発すると目に余るものがあります。

この悪さは心ない一部の局と思いますが、通常交信での常識的なマナーがおろそかになったり、言葉使いが乱れたりといったことが、これらの妨害を助長する一端があるとも思います。

レピーターに限らず、交信の際には「J〇2〇〇〇 こちらは J〇2〇〇〇・・・」とキチンとCALLを言うように基本姿勢を守り、万人が聞いているということを常に意識して、適切で品のある言葉で交信することを心がけ、良きアマチュア無線家として他人を思いやり、アマチュア無線を大いに楽しみたいものです。

最後に、ハムフェステバル・支部大会開催のため多忙の中を準備していただきました地元各局・支部関係者・登録クラブおよび関係者各位に厚く御礼を申し上げますと共に、みなさまのご健勝とますますのご発展と活躍をお祈り申し上げご挨拶いたします。

参考資料：懐かしの無線機(米国ヒースキット社)



SB303 受信機

監査指導について

監査指導委員会
J L 2 A W E 乾 忠世

監査指導委員会は J A R L 三重県支部増田支部長のもと、委員は現在6名です。県北部に1名、中部4名、南部1名で、北と南にうすい現状となっています。以前の12名編成から、諸事情で半減する形となりましたが、その活動について紹介いたします。活動は大きく2つあり、1点は委員による年間を通じた電波のモニターであり、結果は下記の書式で、東海地区4件をたばねる宇野監査長をとおして報告しています。

報告期間は3ヶ月に1回、年4回です。電波利用秩序の維持、周波数の有効利用等の周知・啓蒙活動の役割を一部受け持っていますが、制度、委員の事情、ボランティア等制約を受けている現状があります。その中で、現状をモニター・報告し改善を依頼しています。不適切事例は下表のとおりで、呼出し符号の不送出、愛称での運用、使用区分を守らない等でした。

もう1点は監査委員による「J A R L ガイダンス局」運用です。これは東海四県で年間を通じて運用しますので、各県3ヶ月の分担となります。運用の各監査委員はモニターし、マナーのよくない一部の心ない方へは、時々定型的な注意喚起を行っています。以上ですがお互いに気持ち良く、効率よく電波を使えるよう今後共皆様の適性運用へのご協力をお願いいたします。

平成20年第1四半期（4月～6月）の報告内容を掲載いたします。

区 分	HFバンド	50MHz	144MHz	430MHz	1.2GHz	合 計
(1)使用区別を守らない			146	79		225
(2)周波数の逸脱						
(3)通信事項等		8	1	3		12
(4)呼出し符号の不送出			9	29		38
(5)侵入電波						件
(6)第80条報告書提出数						件
(7)モニター時間					179	時間

モニター現状

- 1) 夜間帯20時過ぎは運用局が少ない。
 - ・平日は使用区分帯が守られ、土日は使用区分帯の逸脱、愛称の移動局が多い。
 - ・マナー向上について、聞く耳持たない無線局が多い。
- 2) 平日の昼間はトラック同士と思われる交信が多く、識別信号を送出していない。
- 3) 伊勢市のアマチュア無線局から、近所でテレホンIがあり依頼本人と共同で実態調査実施した。
 - ①テレホンI・・・2軒あり（実地調査は3軒）
 - ②無線局のフィルター・接地確認・・・特に問題なき模様。
 - ③テレホンI家庭訪れ、HF3.5～28Mhz・10W・50W・100W・500Wで調査実施。1軒の混信程度は若干で電話側に依頼者準備のフィルター挿入で解決。他1軒の混信程度は気になる程度（会話に相当入込む）で、同様にフィルターを挿入してもあまり効果得られないため、引き続き対策案を検討中。

以上

(社)日本アマチュア無線連盟
 東海地方本部長 木村 時政 殿
 東海地方本部内規により支部決算報告をいたします。

平成20年3月25日

三重県支部

本部会計	支部長	支部会計
	増田	長谷川

平成19年度三重県支部費決算報告書

単位:円

科目	当期予算額	決算額	累計額	備考
前期繰越高	15,541	15,541	15,541	
収入	支部費	251,000	251,000	251,000
	賞典収入	0	0	0
	寄付金収入	0	0	0
	受取利息	0	164	164
	雑収入	0	0	0
小計	266,541	266,705	266,705	
支出	会議費	25,000	11,730	11,730
	催物費	194,000	160,637	160,637
	渉外費	500	0	0
	通信費	1,000	17,560	17,560
	交通費	1,000	0	0
	消耗品費	500	0	0
	事務印刷費	1,000	0	0
	コンテスト費	25,000	10,020	10,020
	賞典費	0	0	0
	非常通信費	2,500	0	0
	雑費	500	0	0
				0
				0
小計	251,000	199,947	199,947	
次期繰越高	0	66,758	66,758	

平成20年度支部費収支予算(案)

三重県 支部

支部長 増 田	支部会計 長 谷 川
---------------	---------------------

単位：円

科 目	予 算 額	前期予算額	増 減 額	備 考	
前期繰越高					
収 入	支 部 費	240,000	251,000	△11,000	
	賞 典 収 入				
	寄 付 金 収 入				
	受 取 利 息				
	雑 収 入				
小 計	240,000	251,000	△11,000		
支 出	会 議 費	25,000	25,000	0	
	催 物 費	189,000	194,000	△5,000	
	渉 外 費	500	500	0	
	通 信 費	1,000	1,000	0	
	交 通 費	1,000	1,000	0	
	消 耗 品 費	500	500	0	
	事 務 印 刷 費	1,000	1,000	0	
	コ ン テ ス ト 費	20,000	25,000	△5,000	
	賞 典 費	0	0	0	
	非 常 通 信 費	1,500	2,500	△1,000	
	諸 会 費	0	0	0	
	雑 費	500	500	0	
小 計	240,000	251,000	△11,000		
次期繰越高					

平成19年度三重県支部業務報告書

年 月 日	行 事 名 称	記 事
19年04月22日	支部役員・クラブ代表者会議	リージョンフーサ
19年05月27日	第2回支部フォックスハンティング	鈴鹿青少年の森
19年06月10日	支部役員・クラブ代表者会議	津リージョンフーサ
19年08月19日	支部役員・クラブ代表者・監査指導合同会議	津リージョンフーサ
19年10月07日	支部役員・クラブ代表者会議	まなびの郷
19年10月28日	支部大会（三重県ハムフェスティバル）	紀宝町
19年11月11日	上級国試受験講習会	津リージョンフーサ
19年12月09日	支部役員・クラブ代表者会議	津リージョンフーサ
20年01月26～27日	第31回オール三重33コンテスト	
20年02月17日	支部役員・クラブ代表者会議	津リージョンフーサ
20年03月09日	支部技術セミナー	津リージョンフーサ

平成20年度三重県支部事業計画案

年 月 日	行 事 名 称	記 事
20 04 13	合同会議（支部運営委員・クラブ代表者）	
20 04 20	第3回支部フォックスハンティング	
20 06 01	合同会議（支部運営委員・クラブ代表者）	
20 08 17	合同会議（支部運営委員・クラブ代表者）	
20 09 07	支部非常通信訓練	
20 09 21	合同会議（支部運営委員・クラブ代表者）	
20 10 26	支部大会現地打合せ会議	
20 11 09	三重県支部大会（三重県ハムフェスティバル）	三重県松阪市
20 12 07	合同会議（支部運営委員・クラブ代表者）	
21 01 24/25	第32回オール三重33コンテスト	
21 02 15	合同会議（支部運営委員・クラブ代表者）	

昨年の支部大会を振り返る

紀南地区満願の支部大会と「地域防災とアマチュア無線の役割」

J H 2 Y I V 熊野無線クラブ

今年の支部報になにかクラブで投稿してくださいと、支部から依頼があり、さて何にしようかと、クラブ事務局に相談した結果、昨年の紀宝町での支部大会を書いたらどうか、ある意味昨年度の熊野無線クラブの行事の一つでもあるからということで、当クラブ会員が参加協力した「三重県ハムフェスティバル2007」を振り返ってみたいと思います。

昨年の三重県ハムフェスティバルは10月28日(日)三重県の最南端、南牟婁郡紀宝町生涯学習センター「まなびの郷」にて開催されました。

熊野無線クラブがハムフェスティバル及びJARL三重県支部大会をホストクラブとして参加協力したのは、昭和60年熊野市(熊野市立体育館及びJA熊野市)、昭和63年南牟婁郡鶴殿村(鶴殿村立体育館及び鶴殿村公民館)、平成7年南牟婁郡紀和町(B&G紀和海洋センター及び紀和町コミュニティーセンター)、平成11年南牟婁郡御浜町(御浜町中央公民館及びパーク七里御浜)、と熊野市・南牟婁郡の市町村で開催し、昨年の南牟婁郡紀宝町で、熊野市・南牟婁郡を一巡しました。無事に当地域で持ち回りのハムフェスティバルを終了することができました。ありがとうございました。

さて、昨年のハムフェスティバル開会式典では名誉実行委員長のJP2KOC河上政二熊野市長(当クラブの会員でもあります)が歓迎のあいさつ、増田支部長のあいさつ、来賓として木村東海地方本部長、地元西田健紀宝町長、長村徹夫紀宝町教育長、櫻井祐二中日新聞熊野通信局長、岡田東海地方評議員、宇野東海地方監査長のご臨席を賜りました。開会式典のあと、東海QSOコンテスト、オール三重33コンテストの表彰があり、受賞者の方々には遠路はるばるお越しいただき、表彰を受けていただきました。

お昼は当クラブ名物「紀宝町のイベントといえばカレー」と当クラブXYL各局がカレーライスを振る舞いました。皆さん各テーブルでアイボールQSOを楽しみながらの昼食会となり、おかげさまで大好評でした。

午後からは、「地域防災とアマチュア無線の役割」をテーマに基調講演、パネルディスカッションが行われ、コーディネーターを鈴鹿クラブのJA2RAL山中さん、パネラーに当クラブ防災担当理事JK2GUS 峪口さん、県庁防災ネットワークのJF2AGB中村さん、尾鷲ロールコールクラブのJA2DSF大木さん、紀宝町紀南54会のJI2CPQ登立さん、鈴鹿クラブのJG2NGA萩森さんが務めました。

当クラブの峪口さんは、熊野市と協定した災害時の情報伝達の協力に関する協定について、締結の経緯やその後の活動、市総合防災訓練への参加やクラブコンテストでの避難場所と市役所との伝搬調査、激甚災害時への救護所・避難所へのクラブ員の配置、地域内クラブとの連携、当地域のレピータ等の非常時での対策を報告しました。

県庁防災ネットワークの中村さんからはJARL支部防災ワーキンググループが実施したアンケート結果から、防災時の役割は大きいと考えており、非常通信への貢献にも積極的な人が多いと感じている。またネットワークづくりをするなかで、県にも無線局が必要と

いうことで職域クラブを結成した経緯を報告。

尾鷲ロールコールクラブの大木さんからは、過去にアマチュア無線を使った非常通信ということで、昭和46年9月10日「三重県南部集中豪雨」の際の非常通信について、山崩れで40戸が全壊し、死者26人。電話線が寸断され災害対策本部と通信できず、かろうじて警察無線が届いたとの状態であった。たまたまアマチュア無線を積極的に活動する消防職員がいて、その人が自分の車に無線機を積んで現地に入り、尾鷲市内の市役所職員のアマチュア無線家と交信することができ、非常通信を行った事例を紹介し、また日頃から週1回のロールコールではクラブ員に限らず門戸を広げていること、無線機器のテストも兼ねてロールコールに参加すること、普段からよく通るところで、どこの局と交信できるか知っておくと災害時に役に立つと提言。

紀宝町の登立さんからは、紀宝町を取り巻く熊野川を境に県境での電波では境界がないが、行政の境界がある等地域独自の問題から、水害時における新宮のレピータの活用、子の泊山での山岳遭難の救助活動を例にハンターの局長が活躍することから消防団や猟友会との協力体制、また行政無線・アマチュア無線問わずオペレータの育成が必要なことや、行政とのタイアップとのなかで、アマチュア無線が果たせる役割が大きいと話しました。

鈴鹿市の萩森さんからは、災害ボランティアアマチュア無線グループと鈴鹿市の災害時の応援協定の締結経緯や災害に対応するため、全避難所との伝搬テストや鈴鹿市防災訓練へ参加等の取組を紹介。クラブがあってもクラブ員の高齢化や利用者の減少で継続するのが難しい。毎月の定例会やイベントで活性化を図っており、救命の講習会や特定小電力無線を使った子ども達との通信体験等を行っているが、災害時に何人活動できるかが問題と述べた。

最後にコーディネーターの山中さんから、行政も住民も災害時に初期活動に必要な判断には情報の収集が不可欠。通信手段の確保は生命線と強調し、アマチュア無線は今後も個人、地域、各クラブが活動し、地域のクラブが連携して、行政とも連携して活動してほしいと締めくくりました。

パネルディスカッションのあとは正面玄関にて記念撮影。(表紙の写真をご覧ください)

お楽しみ抽選会は、JA 三重南紀さんから協賛いただいた「三重南紀みかん」のほかたくさん景品が老若男女、未来の局長さん？まで、結果的に空くじなしの楽しい抽選会になりました。

各種展示コーナーでは各クラブのブース、ジャンク市、地デジ推進 PR コーナー、ZTVCATV・Z-LAN コーナー、JAIA コーナー、紀南地区初めてのワイヤーズコーナー展示、JA2YRL 記念局運用等が繰り広げられました。

最後になりましたが、紀宝町を始め、JA 三重南紀、ZTV、東海総合通信局、各クラブ、各種団体・個人の方々にご協賛・ご協力をいただき実行委員会を代表して厚く御礼申し上げます。

(文：JF2CTT)

ハムフェア 2008 に参加するため、夜行の高速バスで東京へ。今回の 1 番の楽しみは MD0CCE (Bob さん) とのアイボール。彼は、オートバイレースで有名な GD (マン島) に移住して、最近オールバンドでオンエアしています。



彼と私の接点は?と言いますと、昨年の秋 DX クラスターの 1.8MHZ バンドで MD0CCE の CALL が目にとまったのがはじまりです。

1.8MHZ は、ここ 10 年くらい私が一番興味を持って QRV しているバンドですが、外国までなかなか電波が飛んでくれません。ましてやヨーロッパの奥の方に位置する英国周辺との QSO は大変困難です。一度彼の信号を聞いてみたいなあと思ったのが今回のアイボールのきっかけになりました。

めぐり合わせとはこんなものでしょうね。昨年 9 月に QRV した 3B7C (St.Brandon) の QSL カードが届きオペレーターを見てびっくり 1.8MHZ でバンド New を与えてくれたのは、Bob さんだったのです。私は、早速彼のメールアドレスを調べて 3B7C のお礼と JA の皆が GD からのサービスを待っているよと E-mail を送りました。

彼から、以前仕事で東京に 2 年間住んでいたこと。たくさんの日本の局と 1.8MHZ で QSO したいとすぐに返事が返ってきました。幸い、お空の Condx の神様も微笑んでくれて、私も GD と QSO することができました。

E-mail のやりとりを繰返すなかで、Bob さんが久しぶりに、日本へ遊びに行きたい何かイベントはある?それでは、8 月の東京へ行きますよと話がまとまりました。

JE2EHP (堤氏) と相談したところ今年のハムフェアにあわせて、DX 愛好家のミーティング (2008 Dxers Banquet in Tokyo) があるのでその時に GD のハム状況や 3B7C DX ペディションの発表をしてもらおうという計画もできました。

DX ミーティングは、約 250 名 (海外からは約 30 名) の参加がありにぎやかになりました。もちろん Bob さんの発表も大成功でした。

今回のハムフェアでは、JH2IEE(荻原氏)と行動を共にさせていただき、たくさんの局とアイボール QSO も出来て楽しい時間を過ごしました。

第34回東海2m和文電信愛好者の集い・第3回東海電信塾総会結果

【2008. H20. 7. 27 三重通信会・東海電信塾】JA2KSA

- ◆ 開催日時・場所 6月28日(土)12時~29日(日)09時 鳥羽市答志島とうし荘
- ◆ 主催者・参加者 三重通信会及び東海電信塾 東海地区等和文電信局30名

JA2RP	JA2AFM	JA2AQJ	JA2AUA	JA2BZA
JA2JWO	JA2KSA	JA2LYW	JA2MEI	JA2UOR
JE2HYF	JE2OOZ	JE2QES	JF2JAR	JF2RCX
JF2RXD	JG2CME	JG2XXV /XYL		JH2FHX
JH2OUF	JH2SMA	JM2HFF	JQ2QID	JR2BQN
JR2HEL	JR2PKU	JS2HQV	JA1HHF	JA6QQL
- ◆ 開催趣旨 昭和52年開始、東海4県持ち回り和文電信局の毎年合宿研修及び懇親会
- ◆ 参加案内 近年参加者への個別案内、JARL三重県支部報、JARL冬号クラブ便り等
- ◆ 開催概要 受付・進行説明 色紙サイン会 千の風になって歌唱練習 黙禱・追悼歌唱
 ★歓迎挨拶・感謝状贈呈、記念誌配付 三重通信会名誉会長・東海電信塾塾頭JS2HQV
 ☆ 愛好者の集い創設功労・・・JA1HHF/ex JH2OIL 日高様
 ☆ 144.05/第二土曜20時JE2YOK定時交信毎回参加JF2JAR大石様
 ★参加者自己紹介及びJA2LYWの短波定時交信実施提案【JS2HQV19時3524】
 ★記念講演 JA1HHF長音について JS2HQV従軍通信等 ☆不要品交換等
 ★JG2XXV宴会祝杯音頭 ★次回来年開催地の静岡幹事へ引継 ☆二次会等



「第42回 全国2mSSB愛好者の集い」

‘08 おいでやす なにわ大会 に参加しました

三重2mSSB愛好会 J A 2 L K C / 中奥政一

久しぶりに、全国2mSSB愛好者の集いに参加しました。

タイトルのように2m (144MHz) SSBをこよなく愛する強者の集まりです。

全国2mSSB愛好者の集いは、1973年7月から始まり今回で42回目を迎えることになりました。(年2回開催された時もありましたので)

この集いは、各県の2mSSB愛好会が主催し、持ち回りで開催されています。来年(2009年)は、お隣の「愛知2mSSB愛好会」の主催により知多郡で開催される事が決まっています。

今回は、「大阪2mSSB愛好会」の主催でおこなわれ、北海道から九州まで200局あまりの参加があり、楽しい一日を過ごしてきました。

久々に顔をあわせた局、何回かQSOしていても初めて顔を合やす局など声と顔(体も含めて)のイメージの不一致を楽しんできました。また、この集いにあわせてQSLカードを持参してくれた局もありました。

RIG、ANTの話、移動地の状況、三重県の運用状況を話したり、どの地域が活発に活動しているとか、〇〇局の声が聞こえないけどどうなってんの、まさかHFへ行ってないだろうな ETC ETC でもやっぱり話題の中心は、コンディションですね。2mといえどもコンディションの低下している状況ではグラウンドウェーブものびない、Eスポやダクトの発生頻度も低い、運用している局数も激減している。「いつになったらコンディションが上昇するのかなあ」とため息ばかりでした。

町村合併による新市の誕生は、JCCを増やすためにはうれしいけれども、それ以上に市町村の合併に伴う町村の減少の方がつらいよねとこちらもグチばかりでした。

例に漏れず、年々体力の低下(いや高齢化)に伴い、移動運用後の体力回復までの時間がなーと皆 大笑い的一幕もありました。

V・UHF帯の楽しさは、HF帯のように電離層の状況に左右されずにある程度のQSOが行えるメリットも存在します。少し高台に移動すれば大きな八木アンテナを準備しなくても、GPでかなりの距離とのQSOも可能なのです。(青山高原なら西は、岡山、広島、鳥取 東は関東地方まで充分QSOが可能なのです)

皆さんも2mSSBを楽しんで見ませんか?



1. 思い出の受信機

アマチュア無線の再開から私の開局当時(1965年)、そして1970年頃までのアマチュア局の多くは高1中2(高周波増幅1段、中間周波増幅2段)という通信型受信機としては最低限の性能と機能を備えていた受信機を使っていました。

そして雑誌には様々な工夫を凝らした高1中2の受信機の製作記事が載っておりました。

私もご多分に漏れず、高1中2の受信機を自作して、これで開局をしました。高い周波数は安定度に問題があるのでクリスタルコンバーターを付加したり、選択度を改善するためにIFTの数を増やしたり、Qマルチプライヤーを付加したり、工夫をしたものです。

やがて時が過ぎましたが、夜中までシャーシーをひっくり返して少しでも性能を上げようと熱中した開局当時の思いでは長く頭の中に残っておりました。

そのような中、仕事の関係でアメリカ合衆国オハイオ州に転勤になった私は近所のHAM-FESTでトリオの9R59を見つけました。

かなり汚れていましたが見た瞬間と、買おうと思ったのが同時でした。

手に入れた9R59、正確に言うとな称はLAFAYETTE/KT320となっていました、間違いなく9R59です。1960年代にトリオからアメリカに輸出されたOEM製品です。この9R59、SWを入れましたがスピーカーから音は出ませんでした。

2. 9R59の作り直し

せっかく手に入れた9R59、飾り物だけでは何とももったいない話です。そこでこの受信機を蘇らせる事にしました。40年前の思い出を頭に描きながら。

方針としては、外観は一切加工を加えないで当時のままを保つ、高1中2の基本的な構成は変えない、真空管を使う、但し使いやすくなるための若干の付加回路をつけるというものでした。

手に入れた9R59は物理的なダメージはシャーシーの錆以外は目立ったものは殆どありませんでしたが、何十年間もガレージの隅っこに放置されていたのでしょうか砂埃と綿埃に包まれていたという代物でした。

実はこの9R59は一見ではタダのクズにしか見えませんが目立った物理的なダメージがない、改造がない、部品の欠品がない、という事で買ってきたのでした。

古い機械をベースに作り替えを計画している方でこれらの機械を手に入れる場合の判断基準としては、この3点が非常に重要だと思っています。

3. 回路の決定

高周波増幅1段、中間周波増幅2段の基本構成は変えませんが、骨格となる回路は決まってきます。オリジナルの9R59にはない、幾つかの付加回路を追加しましたが、このテの受信機で注意しなくてはならないのが、電源トランスの容量に殆ど余裕がないという点です。

9R59ですと整流管の5Y3を除くと8本の真空管で構成されていますが、ヒーター電流も、B+電流もそれぞれ3A、80mAしかありません。

1. このタイプの受信機は安定度に難点があるので、せめて局発のB+だけでも安定化させるために定電圧放電管のOB2を挿入する。OB2には10mA～15mAの電流を流してこの電流値を増減させて電圧を安定化させるので、余裕のないB+を食ってしまうので、注意が必要です。

2. プロダクト検波回路を付加。SSB、CWをきれいに聞くには必須の回路です。これはいろんな回路がありますが、3極管タイプの簡単なもので十分です。非常に快適に働きます。

BFOはどうするかいろいろと悩みましたが、手元にあった水晶を使いました。USB、LSBの3個が必要なのですが、私は主に3. 5MHZと7MHZをワッチするので、LSB用を挿してあります。実はIFの帯域が広いので、LSB用の水晶でもUSBは聞くことができます。

3. マーカー回路を付加。9R59はアマチュアバンドが5KHZまで直読できるスプレッドダイヤルがついています。これを正確に読むためには、メインダイヤルを正確にセットする必要があり、マーカーが必要です。3. 5の事を考えると500KHZ、又は3, 5MHZの水晶がベストなのですが、手持ちの1MHZの水晶を挿して使っています。

4. 尖頭値型ACG回路の採用。このような受信機でもいつもフルゲインでSSB・CWを聞けるようにしておくとな非常に使いやすい受信機になります。昔のSSBハンドブックに載っていた回路をそっくりそのまま使わせて頂きました。このように回路を追加していくと、複合管を採用しても10球になってしまいました。実質的には4本の3極管と5極管が増えてしまいました。

先ずヒーター電流が不足しますので、パイロットランプとマーカーの6BA6は5Y3のヒーター用の5Vを使いました。(5Y3の代用にはシリコンダイオードを用います)

マーカーの6BA6は常時ONではないし、発信強度は落ちているのでしょうが5Vのヒーターでも実用上全く気になりません。ダイヤルを照明しているランプはやはり少し暗くなるので、球を5Vに変えるのがベターかも知れません。B+もオリジナルに比べて20mA以上増加していますが、問題はないようです。トランスもそんなに熱くはなりません。

4. ベース受信機の入手について

ゼロスタートで、シャーシーの穴明けから真空管受信機を作るのは非常に困難というか不可能に近い現在、方法としてはベースになる受信機を1台手に入れてそれを活用するという方法が良いと思われます。手を入れて自分流に作り直しがしやすい受信機としては、例えばトリオの場合9R42J(4J)とか9R59で、これ以降の9R59Dとかはプリント基板なので、オリジナルを崩す事はできません。

この場合はいかにオリジナルに忠実に戻すかという作業になります。これはこれで、興味深い作業で、パンクしたコンデンサーを交換したり、抵抗を交換したりしてあくまでオリジナルを維持するというパターンです。

今回紹介するのは9R59の主要部品を流用した真空管受信機の製作と言った方がよいかも知れません。この場合のやり方は、部品の交換によるレストアではなく、回路はそっくり作り直し、しかも自分の好きな回路を使うという事になります。9R59はかなりの数が売られた受信機なので、今でも手に入れるのはそんなに難しくないとします。

5. 部品の入手

真空管による簡単な受信機、送信機をもう一度作りたいて思ってみるOMはかなり多いと思います。ところが実行に移す方が少ないその最大の理由は、「部品が手に入らない」、というものです。

確かに今は40年前のように真空管用の部品が簡単に手に入る時代ではありません。

が、ボロボロでも構いませんので物理ダメージを受けていない受信機を1台手に入れてそれをベースに作る、という方法を取る事によって、真空管受信機いじりは急に現実味を帯びてきます。

こんな屑のような受信機、という事で捨てないで下さい。努力次第で殆どの場合何とかなるものです。それでもやはり小物部品はいろいろと揃えなくてはなりません。またバリコンとかの心臓部品がダメージを受けている場合もあります。そのような場合のこれらの部品の入手方法をいくつか述べてみたいと思います。私はこの部品集めも楽しみの一つだと思っています。

1. 真空管ソケット、中継ラグ板、抵抗器、コンデンサー(ケミコン、マイカコン、セラミックコン)は、新品の在庫がまだかなりあるので、限られた販売店ですが買うことができます。

オーディオ関係の部品を売っている販売店で買うのもいいかも知れません。(でも時々、非常に高価な時もありますので要注意)

2. 主要部品が必要になった時は、同じようなジャンクを買ってきてそこから部品を取り外す。

これが一番確実なような気がします。

受信機で言いますとコイルパックとか、IFTとか3連バリコンとかはこの方法以外はなさそうです。

でもオークションとか、昔の友人とかのネットワークを利用すると、以外と手に入るものです。友人の家の物置に放置されていた自作の受信機らしきシャーシーの残骸からIFT3本とBFOコイルを手に入れた事があります。

3. 海外(アメリカ)からの通販。高圧のセラミックコンデンサーとか、マイカコンデンサーとか、シールド付き真空管ソケットとか、まだまだアメリカは真空管マニアのための部品は豊富です。

日本では0.02マイクロの耐圧500Vのセラミックコンデンサーが1個100円とか150円で売っているのを見掛ける事がありますが、それでしたらアメリカから通販で買った方がうんと安いし、信頼もおけると思います。

4. 真空管そのもの。これは全然問題ありません。むしろダブっている感じです。あと30年や50年間は真空管、特にアマチュアが使う真空管はなくなるという感じです。リーズナブルな値段で簡単に手に入ります。よく真空管が手に入らなくて、という事をおっしゃるOMさんがみえますが、まだ真空管は世の中に腐るほどあります。

部品集めのコツは、ボロボロの部品でも捨てないでもらってくる事です。水洗い、洗剤での清掃等を行えば、使えるようになる事が多いです。とにかくソケット1個でも、ボリューム1個でも、コツコツ集める事が大切です。

いくらボロボロでも物理ダメージを受けていない受信機を1台手に入ると、後は自分で集めなくてはならない部品と言うのは非常に限られてきますので、やはりこの方法がお勧めです。

6. 分解・清掃・組み立て・配線

入手した9R59は注意深く分解していきます。最初に配線を切って外していきます。使われている抵抗・コンデンサーは利用できないと考えてよいでしょう。

残して起きたいのは電源回路に使われているケミコンと2KΩ 10Wの抵抗です。真空管ソケットもドリルを使って、ハトメに穴を開け、外します。バリコンコイルパックも全て外したら、部品の清掃に入ります。

洗剤・無水アルコール・等を使ってゴミを取り除きます。道具は歯ブラシ、綿棒、ヨウジ使い古しの綿のシャツ、あらゆるものを動員します。JA1VBN花澤OMのように(2005年9月号紹介)水洗いもいいかも知れません。

シャーシーもハンダを落とし、洗剤などで汚れを落とします。ツマミは洗面器の中で洗剤を混ぜたお湯を使って歯ブラシで洗います。分解・清掃が一番大変ですが、徹底的にやります。土日の丸2日くらいを使ってやると個別の部品

は錆さえなければ、見違えるようにきれいになります。

注意しなくてはならないのはIFTをシャーシーから外す時で、3mmのナットはペンキで固められていますので、無理にナット回しなどで回してはいけません。ケース側のビスの部分が、壊れてしまい、修復不可能になります。

ファンクションSW(ロータリーSW)も接点間の埃を取り除く、ベークのウエハーを綿棒で清掃して、軸の稼働部にオイルを塗り、最後に極く少量の接点復活剤を塗布します。

組み立ては分解の逆をやっていくわけですが、真空管ソケット、中継ラグ等は新品を使って組み立てていきます。結構やっかいなのはダイアルの糸掛けで、苦勞します。ダイアルのフライホイール等の機械的に酷使される部分は軽くオイルを垂らしておきます。またバリコンは軸受けの部分に良質のオイル注して、軸の回転を滑らかにします。バリコンの軸は大抵の場合、オイルが切れて回転が非常に固くなっています。アンテナトリーマー・Qマルチのミゼットバリコンも清掃をして軸に注意深くオイルを注しておきます。

言い忘れてましたが、パネル・上蓋・底蓋はチリメン塗装されており、これは大きなタライのような容器の中で、洗剤を少し入れたお湯で洗います。毛先の柔らかいブラシを使います。

組み立てが終わると、見違えるような状態になります。錆さえ少なければ、誰がやってもきれいに再生できます。要は根気だけの話です。

これで、9R59のキット状態が完成したわけです。つまり後は配線をするだけ状態の事です。

配線はヒーターから始まって、電源、AF増幅部、検波部、IF部と順に行います。検波回路の付近、オリジナルで言うところ6AV6、6AR5のソケットがあった付近は抵抗・コンデンサーが密集する部分なので、注意深く、立体的に配線を行っていきます。

またRF回路、特にコイルパック部分も配線がやりにくい部分なので、他の部品を傷めないように注意深く行います。私の場合は毎日ほんの少しづつやって結局は1ヶ月程で配線を終わりました。集中的にやれば2日～3日で終わる配線です。

7. 調整

調整は是非ともSSGを準備したいものです。簡単なSGレベルでもOKで、うまく探せば1万円くらいで手に入ります。このようなSGでも周波数はデジタル表示のトランシーバーでチェックすればOKです。

私はURM25Dという軍用のSSGを50ドル(5000円)で拾ってきて使っております。50年以上前の軍用SSGですが十分に使えます。

調整はIFから行いますが、いろいろとトラブルが出る可能性があります。私の場合は初段のIFTがコアを回してもピークが出なくなっておりました。つまり455KHZに同調しない訳で、原因はIFT内の200PFのコンデンサーがショートしておりました。このテの受信機のRF回路調整は少しコツが入りますが、焦らずにBCバンドからやっていきます。

1. 6～4.8MHZは問題なく調整できるはずですが、4.8～14.5MHZバンドになるとRFコイルを回すと混合段の引き込み現象で、SSGの信号がどこかへ動いてしまいますが、心配入りません。スタンドタイプの蛍光灯の蛍光管に数回ビニール線を巻いて、それをアンテナ端子に繋げば、立派なノイズジェネレーターになり、引き込み現象に関係なく、RF段の調整ができます。

10. 5～30MHZになるとゲインも下がりますからSGの出力も少し上げなくてはなりません。イメージにも注意です。同じ信号が2カ所で聞こえますから、下の方が本物です。

調整はじっくりとやって下さい。でも数時間もあれば十分です。

プロダクト検波は、入力信号を調整するだけです。AM受信時とAF出力の差が気にならない程度にする、という調整です。

8. さて性能は

AM放送の受信は21MHz帯まで十分に実用になります。周波数が十分に安定するまでには1時間くらいがかかりますが、30分後くらいから気になりません。南米、ヨーロッパの15MHz、17MHz帯の放送が非常に快適に聞こえます。周波数は直読できないので、ちょっと不便ですがログスケールと周波数の読替表をつくれれば、実用上差し支えありません。

私はこの受信機でラジオジャパン(5960KHz)を聞いたり、15MHz帯の中南米局の音楽を聴いたりしております。アマチュアバンドは1.9、3.5、7、10MHzまではCW・SSBとも選択度は甘い以外を除けば全く問題ありません。びっくりするくらいに快適に聞こえます。

やはりIFT3本だけのIF段はおおらかですが、この受信機はDXを追いかけるために使うわけでもなく、のんびりとワッチをするだけの目的の受信機ですから、私は特にフィルターは入れておりません。どうしてももう少し選択度が欲しいという方は、初段にセラミックフィルターを1個入れておけば快適になると思います。

真空管の暖かい音をスピーカーから聞いていると、40年以上前の開局時代が頭の中に浮かんできます。あのOMさん今はどうしているのかなー、毎日夜遅くまで3.5MHzでラグチューーやったなー、お遊びで夜中に7MHzでCW叩いたらUA0が呼んできてびっくりしたなー、TVIで悩んだなー、、、思い出は尽きません。

それとプロダクト検波と尖頭値型のAGCの組み合わせは、非常に快適です。オリジナルの9R59はCWの時にQマルチが使えませんでした。独立した構成にするとCWの時に使用できます。Qマルチは評価のいろいろと分かれるところですが、何もフィルターがない受信機ではCWの時はやはり有効だと思います。

9R59流用のタダの高1中2ですから大きな期待は禁物ですが、イキのいい真空管を使い、抵抗・コンデンサーを全部新品で組んでいる訳ですから劣化という要素を全部取り除いていると考えて差し支えなく、そういった意味からは当時の状態を100%再現していると考えております。

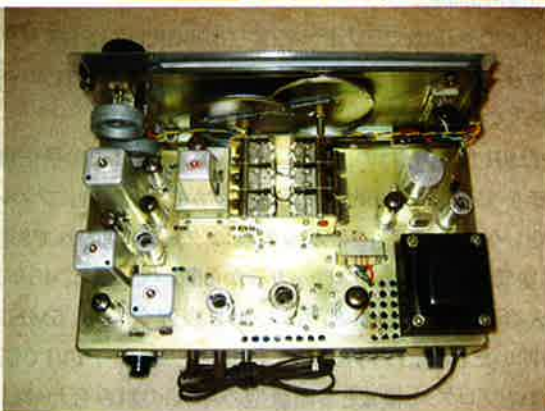
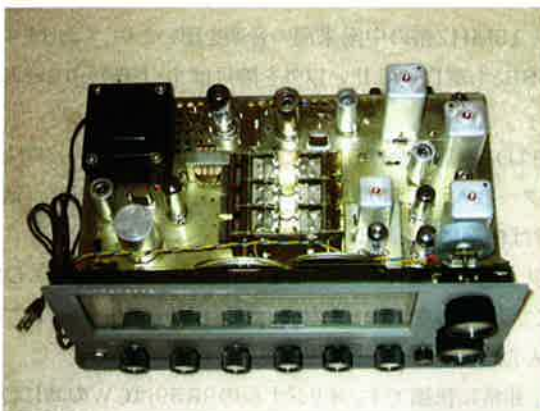
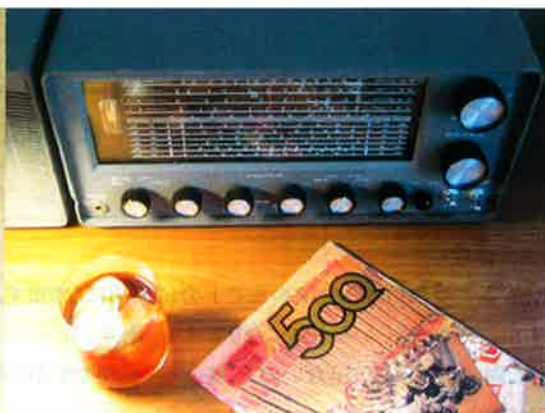
「そうかー、こんな受信機で当時はワッチしてそしてQSOLしていたのかー。」、と思うと少々感激してしまいます。

今となつては真空管の受信機作りは、40年前のように全部の部品を別々に集めてきて作るの是非常に困難です。しかしこのようにベースとなる受信機を手に入れてスタートすると、何とかなります。また現時点で真空管の受信機作りは正直言って非常に贅沢な趣味に属すると思います。

先ず部品集めに時間がかかる、お金があつてお店に行けばさつと部品が揃うというものでは決してありません。そして時にはエーッ、こんな物にこれだけ出さなきゃいけないの？という場合もあります。

工具・測定器もそれなりに必要です。ソリッドステートと比較して全てが大きいのでそれなりの物理的スペースも必要です。でも私の年代の方の多くは、できたらやってみたいと思って見えるのではないのでしょうか。

高1中2ではなく、5球スーパーのレストア・製作、そしてOV1等の自作は部品点数も少なく、楽しいかも知れません。時間と小遣いの余裕もできつつあるという年代に差し掛かった方々の中で、もう一度真空管受信機を自分でいじってみたいと思っているOMさん、あの感激を味わいませんか。



JA2IIN 中西さんに今年も米国から原稿をお寄せ頂きました。
この写真を参考にして記事を読んで下さい。

最近の主なDXペディション

JA2AH 石田正多

* FJ/OH2AM

DXCCの338番目のエンティティとなったセントバーソロミューからOH2BHとOH0XXによるペディションが昨年12月18日から26日まで行われました。QSOは総数23,340でJAは851でした。コンディションが悪く本格的に開けたのは24日朝の1時間のみでした。エリア指定で2エリアは3~4分程度、3エリアも同程度で皆苦労していました。



* VP6DX

2月11日から27日までDL6FBL, K3NA, SV1JG, WA1SRら13名からなる国際チームにより南太平洋のDucie島へのDXペディションが行われました。1.9メガから50メガまでのCWとSSBで7局同時運用が行われ総数で183,686QSOの記録となりました。今回のペディションではドネーションを贈った局にはQSL優先して発行するという方法がとられました。



* TX5C

3月10日から15日まで米国カルフォルニア沖のフランス領の島クリッパートンへN7CQQ, VA7DX, WA1SRら21名からなるチームによりDXペディションが行われました。1.9メガから28メガまでのCW、SSBとRTTYの運用が行われ総数71,794QSOとなりました。



* 9X0R

3月16日から27日までアフリカ中部のルアンダのアカゲラからEA2RY, EA5KM, F9IEら12名のチームによるDXペディションが行われました。1.9メガから28メガまでのCW、SSBとRTTYの運用が行われ62,679QSOできました。そのうちJAは4,547QSOでアメリカ、イタリー、ドイツに次いで4番目でした。



三重県の支部大会も回を重ねるごとに、県内HAMにとっては充実した情報源となって来ております。私も長年アマチュア無線を楽しんでおりますが、年齢のこともあり、ここ数年は志摩地方におけるボランティア育成に力を入れてきました。ボランティア活動の中で、過去に身に着けた無線技術がいかに関与するかも認識しており、ぜひ若い人たちにアマチュア無線を広めなければならないことも切に感じております。

さて、アマチュア無線局の楽しみと同時に私たちが、ぜひとも考えて欲しいものの一つにボランティア活動があります。もともと日本アマチュア無線連盟もそういった気持ちを持った人たちが全国一緒になってボランティア活動を行いたいという強い気持ちの表れだったはずで。志摩半島地区においても、その気持ちは変わらず、我々は災害発生時に備えて常に訓練を交えながら活動をしております。既に、志摩市との協定も結ばれ、機会があれば訓練を重ねております。

何事にも言えることは、やはり普段の訓練です。私たちは、訓練を通じてそれぞれのコミュニケーションを図りながら、友人を増やしたり技術交換などをしたり常に仲間意識を持つようになって来ており、このことがボランティア活動における信頼にも繋がり、災害発生時には大いに役立つことでしょう。

忘れてはならないアマチュア無線家のボランティア精神・・・こんな気持ちを持たれる方なら、ぜひ活動に参加して下さい。過去に、新聞等でも報じられており、一部の人たちには認知されており期待が掛かっております。

代表 JJ2KOU 岸本 寿

事務局 JG2TQN 森崎喜久男

中 日 新 聞

2007年(平成19年)7月11日(水曜日)

伊勢志摩 (18)

災害時の情報伝達に関する協定



協定書に調印し、竹内市長と握手を交わす岸本代表(左)と志摩市役所で

伊勢志摩版

災害時に情報提供

志摩市 アマ無線局と協定

志摩市と同市のアマチュア無線グループ「志摩アマチュア無線防災支援ネットワーク」が10日、同グループは二〇〇五年六月に発足し、会員は八十二人。協定は、市内

や周辺で大規模災害が発生時の情報伝達に関する

生、または発生が予想される場合、会員が市に協力して災害情報の収集、伝達するという内容。協定に基づき、同グループは八月に同市大王町で開かれる市の総合防災訓練に参加を予定している。

竹内千尋市長と同グループの岸本寿代表が、協定書に調印。岸本代表は「阿児町甲斐に中継機を設置し、市全域をカバーできる方全の体制を確認している。愛する志摩市のために役に立ちたい」とあいさつした。

(小柳津心介)

一日に特段の予定がない休日の朝、BGMのように7メガバンドを流しながらパソコンでこの原稿を打っています。

約20年の時を経て、偶然の出会いから再び無線の世界に戻って間もなく3年、その間、地域のクラブに加えて頂き、間もなく1年が過ぎようとしています。偶然の出会いは、仕事での必要から、全く縁のなかったネットオークションを覗く機会があり、その中に往時の無線機を見つけ郷愁に心を駆られたことでした。幸い当時のコールサインが残っており実家を常置場所として再開局でき、変則ですが当地で常時移動のように運用しています。

情報通信の技術が成熟し、いつでも誰とでもコミュニケーションが可能な時代に片方向に限られたアマチュア無線は前時代的でマイナーなイメージで捉えられがちですが、携帯電話や有線電話のような閉鎖性もなく、地域、年齢、上下関係、新参・古参の区別なく誰とでもコミュニケーションが可能なアマチュア無線はその交信による出会いの偶然性も併せ「趣味の王様」の名に相応しいと改めて感じます。

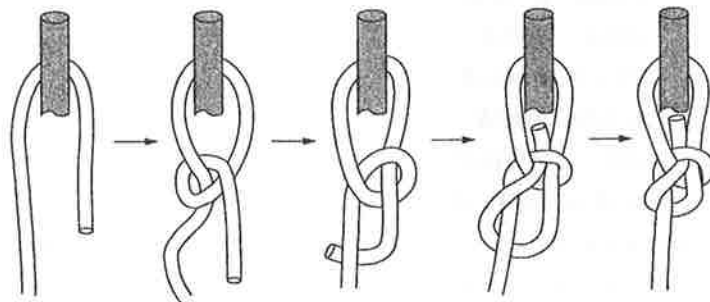
また、どのように無線機器のデジタル化や高機能化が進んでも、アマチュア局同士は歴史ある往時の無線機で何の障害もなく交信可能で、先の携帯電話などと比べ、優れた大きな特徴だと考えられます。

最近のCQ誌などではアマチュア無線復帰へのアドバイスや体験記事を多く見掛けるようになりました。これはライフプランが見通せる年代を迎え、現役時代にいろいろな事情で遠ざかったアマチュア無線が、また身近に戻ってきたことによるものと考えられ、より多くの方々に趣味の王道に復帰して欲しいものです。

所属する名張アマチュア無線クラブは伊賀地域での情報交換などを目的に、メンバーであるなしを問わず参加が可能な毎週土曜日のオンエアミーティングや、1.2ギガでのATVの試みに取り組んでいます。

インターネットの情報などでは伊賀地域に相当数のアマチュア局がありますが、無線クラブへの加入は少なく、今後はより多くの加入により活動を盛り上げて行きたいものです。

最後に、公共の貴重な財産ともいえる電波の使用を許されたアマチュア局や無線クラブが地域に貢献し、その存在を認められ期待を担うことが、アマチュア無線の活動を継続し発展させるため最も重要なことだと考えています。



支部運営委員および東海地方本部関連	登録クラブ (平成20～21年)
JA2AH 石田正多(運営委員)	21-1-01 桑名アマチュア無線クラブ
JA2ANJ 伊藤明生(運営委員)	21-1-03 伊勢パールハムクラブ
JA2HVO 岡田哲夫 (運営委員・東海地方本部評議員)	21-1-08 ボイスオブ亀山ローカルクラブ 21-1-08 尾鷲ロールコールクラブ
JA2KWL 中村藤則(運営委員)	21-1-12 JARL員弁アマチュア無線クラブ
JA2KZM 増田晴生(運営委員・三重県支部長)	21-1-14 志摩無線クラブ
JA2LKC 中奥政一(運営委員)	21-1-15 三重飯南香肌ハムクラブ
JA2NEO 中桐俊次(運営委員)	21-1-17 熊野無線クラブ
JA2NMH 長谷川隆司(運営委員・支部会計)	21-1-22 名張アマチュア無線クラブ
JA2UOR 松岡信一(運営委員)	21-1-27 アマチュア王国43970
JE2APW 朝尾高明(運営委員)	21-3-04 神鋼電機伊勢アマチュア無線部
JE2MDE 磯田憲一(運営委員・支部コンテスト委員長)	21-3-05 三重県庁防災ネットワーク 21-4-01 津平治クラブ
JE2MQV 伊藤忠史(運営委員)	21-4-05 JMHC 三重
JF2AGB 中村裕紀(運営委員)	21-4-09 三重 DX クラブ
JF2CTT 南本幹也(運営委員)	21-4-12 Southern Mie A.R.C.
JF2NNE 原田 哲(運営委員)	21-4-19 ALL JAPAN・RAGCHEW・HAM・G.
JG2DJL 山本剛也(運営委員)	21-4-21 日赤三重無線奉仕団
JG2KKG 近藤久貴(運営委員)	21-4-33 九官鳥ハムクラブ
JG2PUW 林 義和(運営委員)	21-4-34 三重電信会
JH2RMU 村山 彰(運営委員)	21-4-35 三重コンテスターズクラブ
JJ2AWE 乾 忠世(運営委員・三重県監査委員長)	21-4-36 おしどりハムクラブ
JJ2KOU 岸本 寿(運営委員)	21-4-37 三重2mSSB愛好会
JM2OEB 小川典甫(運営委員)	21-4-38 三重VHF DXクラブ
JR2MHV 富岡 巧(運営委員)	21-4-40 FMでとばそう会
JR2TLB 竹原保博(運営委員・東海地方本部コンテスト委員)	21-4-41 三重10mFM愛好会

※登録クラブへの質問などは三重県支部 ja2kzm@jarl.com ヘメールにてお願いします。

三重県監査指導委員	
委員長	JL2AWE 乾 忠世
委員	JA2HVO 岡田哲夫
委員	JA2IVM 鈴木和夫
委員	JH2DWL 浦狩博之
委員	JR2TLB 竹原保博
委員	JE2MQV 伊藤忠史

※ 電波障害および電波適正利用については、皆さん一人一人の努力でかなり軽減されます。

※ レピータ利用についても基本マナーを守りタイムアウトを考慮した交信を実行して下さい。

第31回オール三重33コンテスト結果

●2008年1月26~27日に行いました第31回オール三重33コンテストの結果を次の通り発表します。

●順位の◎印は入賞局、○印は県外シングルop50MHzバンドと144MHzバンドのエリア1位(上位50%以内)◇印はカントリー1位

各部門とも同点の場合は交信終了時間の早い局が上位
 QSO:交信局数、Pnt:得点、Mlt:マルチ、Score:総得点、Club#:登録クラブ番号、Pw:空中線電力/A:201W以上、B:51~200W、C:21~50W、D:20W以下

	参加局数	
	MIX	CW
(A1) 県内局シングル op マルチバンド	4	2
(A2) 県内局シングル op1.9MHz バンド	-	1
(A2) 県内局シングル op3.5MHz バンド	0	1
(A2) 県内局シングル op7MHz バンド	1	2
(A2) 県内局シングル op50MHz バンド	1	0
(A2) 県内局シングル op144MHz バンド	4	1
(A3) 県内局シングル opFM モード	3	-
(A4) 県内局 マルチ op マルチバンド	1	0
(A5) 県内局 S W L マルチバンド	0	0
(B1) J L 局シングル op マルチバンド	1	1
(C1) 県人局シングル op マルチバンド	6	4
(D1) 県外局シングル op マルチバンド	7	29
(D2) 県外局シングル op1.9MHz バンド	-	5
(D2) 県外局シングル op3.5MHz バンド	2	18
(D2) 県外局シングル op7MHz バンド	15	21
(D2) 県外局シングル op50MHz バンド	4	0
(D2) 県外局シングル op144MHz バンド	8	3
(D3) 県外局シングル opFM モード	0	-
(D4) 県外局 マルチ op マルチバンド	3	1
(D5) 県外局 S W L マルチバンド	1	3
計	61	92
合計	153	

☆CA1 電信 県内局シングル op マルチバンド

	Callsign	QSO	Pnt	Mlt	Score	Club#	Pw
◎ 1	JR2DOL	262	260	131	34,060		A
2	JE2YOK	125	125	80	1,000	21-4-34	C

☆CA2-1.9 電信 県内局シングル op 1.9MHz バンド

	Callsign	QSO	Pnt	Mlt	Score	Club#	Pw
◎ 1	JI2MWH/QRP66	66	41		2,706		D

☆CA2-3.5 電信 県内局シングル op 3.5MHz バンド

	Callsign	QSO	Pnt	Mlt	Score	Club#	Pw
◎ 1	JH2KTW	37	37	37	1,369	21-4-34	B

☆CA2-7 電信 県内局シングル op 7MHz バンド

	Callsign	QSO	Pnt	Mlt	Score	Club#	Pw
◎ 1	JE2SJH	34	34	24	816		B
2	JR2UMU	28	28	20	560	21-4-34	C

☆CA2-144 電信 県内局シングル op 144MHz バンド

	Callsign	QSO	Pnt	Mlt	Score	Club#	Pw
◎ 1	JA2UOR	10	10	8	80	21-4-34	D

☆CB1 電信 J L 局シングル op マルチバンド

	Callsign	QSO	Pnt	Mlt	Score	Club#	Pw
◎ 1	JP2TDQ	46	46	28	1,288	21-4-34	C

☆CC1 電信 県人局シングル op マルチバンド

	Callsign	QSO	Pnt	Mlt	Score	Club#	Pw
◎ 1	JR3KQJ	167	165	99	16,335		B
2	JK1SDQ	143	143	87	12,441		B
3	JA2MEI/2	89	89	38	3,382		C
◇ 4	VK1ANU	11	11	11	121		B

☆CD1 電信 県外局シングル op マルチバンド

	Callsign	QSO	Pnt	Mlt	Score	Club#	Pw
◎ 1	JF60VA	32	32	32	1,024		C

◎ 2	JF2MVI	29	29	29	841		C
◎ 3	JA5CQH/4	24	24	24	576		C
4	JE2HEU	24	24	24	576		B
5	JA1CP	23	23	23	529		C
6	JA2DHF	21	21	21	441		B
7	JA0DVE	21	20	20	400		C
8	JA3RSJ	20	20	20	400		B
9	JA0ADY	17	17	17	289		B
10	JA7DLE	18	17	17	289		A
11	JH3PTC/3	17	17	17	289		C
12	JA8AJE	16	16	16	256		B
13	JA7MNJ	15	15	15	225		B
14	JA48DY	15	15	15	225		C
15	JH3JYS	15	15	15	225		B
16	JA7AEM	14	14	14	196		B
17	JA0GZ	14	14	14	196		B
18	JH1JBP/1	12	12	12	144		C
19	JA1LOG	12	12	12	144		C
20	JA3EOE	11	11	11	121		B
21	JA1XPU	11	11	11	121		B
22	JH4JUK	10	10	10	100		C
23	JM7OHL	10	10	10	100		B
24	JA2AFX	14	9	9	81		B
25	JH1NXU	9	9	9	81		D
26	J01SIM	9	9	9	81		B
27	JN3ANO	8	8	8	64		B
28	J03MGR	6	6	6	36		C
29	JA3ATK/5	4	4	4	16		C

☆CD2-1.9 電信 県外局シングル op 1.9MHz バンド

	Callsign	QSO	Pnt	Mlt	Score	Club#	Pw
◎ 1	JH1KPT	6	6	6	36		B
2	JA7CDV	6	6	6	36		B
3	JF10IJ	4	4	4	16		B
4	JA30EA	3	3	3	9		C
5	JA3BGF	2	2	2	4		C

☆CD2-3.5 電信 県外局シングル op 3.5MHz バンド

	Callsign	QSO	Pnt	Mlt	Score	Club#	Pw
◎ 1	JA3RK	9	9	9	81		B
◎ 2	JK2BAP	8	8	8	64		B
◎ 3	JR3EXE	7	7	7	49		A
4	JA9AJU	7	7	7	49		B
5	JJ1XKE	7	7	7	49		C
6	JA2OUT	7	7	7	49		B
7	JF2WME	7	7	7	49		B
8	JH4RAL/3	6	6	6	36		C
9	JA6FOF	6	6	6	36		C
10	JE4AEJ/1	6	6	6	36		C
11	JJ0HEN	5	5	5	25		B
12	JA1COP	5	5	5	25		B
13	JA0GSG	5	5	5	25		B
14	JA3QG	5	5	5	25		B
15	JJ1IIF	3	3	3	9		B
16	JH0QYS/QRP	3	3	3	9		D
17	JA1AAT	2	2	2	4		B
18	JASINF/1	1	1	1	1		C

☆CD2-7 電信 県外局シングル op 7MHz バンド

	Callsign	QSO	Pnt	Mlt	Score	Club#	Pw
◎ 1	JH2HUQ	10	10	10	100		B
◎ 2	JH6WXF	10	10	10	100		C
◎ 3	JA2NGN	10	10	10	100		B
4	JA4LZV	9	9	9	81		C
5	JA3JM	9	9	9	81		C
6	JL7FBV	10	10	8	80		C
7	JF8DSO	7	7	7	49		C
8	JA7JEC	7	7	7	49		B
9	JG0AXT	7	7	7	49		C
10	JA5HPX	7	7	7	49		B
11	JA6LAD	6	6	6	36		C
12	JA1FWY	6	6	6	36		B

13	JA1HG	6	6	6	36	B
14	JA1HIY	5	5	5	25	D
15	JF6RNE	4	4	4	16	C
16	JE2XBS	3	3	3	9	D
17	7L3EBJ/QRP	3	3	3	9	D
18	JN1BBO	3	3	3	9	C
19	JG3LDD	3	3	3	9	C
20	JK1LUY	2	2	2	4	B
21	JA0FVU	1	1	1	1	B

★CD2-144 電信 県外局シングル op 144MHz バンド

Callsign	QSO	Pnt	Mlt	Score	Club#	Pw
◎ 1 JG2KGS	4	4	4	16		C
2 JA6QQL/Z	3	3	3	9		C
3 JA1VVH	1	1	1	1		C

★CD4 電信 県外局マルチ op マルチバンド

Callsign	QSO	Pnt	Mlt	Score	Club#	Pw
◎ 1 JI320X	14	14	14	196		C

★CD5 電信 県外局 S W L マルチバンド

Callsign	QSO	Pnt	Mlt	Score	Club#	Pw
◎ 1 JA4-4665/1	25	25	25	625		
2 JA3-6644	32	17	17	289		
3 JA4-37294	10	10	10	100		

★XA1 電信電話 県内局シングル op マルチバンド

Callsign	QSO	Pnt	Mlt	Score	Club#	Pw
◎ 1 JK2VOC	261	261	127	33,147	21-4-35	B
2 JJ2SQJ	177	177	124	21,948		C
3 JQ2OUL	21	21	18	378	21-1-1	D
4 JA2TTH	7	7	7	49		C

★XA2-7 電信電話 県内局シングル op 7MHz バンド

Callsign	QSO	Pnt	Mlt	Score	Club#	Pw
◎ 1 JR25ZH	36	36	24	864		B

★XA2-50 電信電話 県内局シングル op 50MHz バンド

Callsign	QSO	Pnt	Mlt	Score	Club#	Pw
◎ 1 JN4VOX/Z	8	8	8	64		C

★XA2-144 電信電話 県内局シングル op 144MHz バンド

Callsign	QSO	Pnt	Mlt	Score	Club#	Pw
◎ 1 JA2AHR	40	40	27	1,080	21-4-37	C
2 JA2LKC	36	36	28	1,008	21-4-37	C
3 JJ2TKX	23	23	20	460	21-4-35	C
4 JF2VYY	10	10	10	100		D

★XA3 電信電話 県内局シングル op FM モード

Callsign	QSO	Pnt	Mlt	Score	Club#	Pw
◎ 1 JJ2QHJ	59	59	40	2,360	21-1-1	D
2 JQ2GVV	20	20	16	320		D
3 JQ10KW/2	5	5	5	25		D

★XA4 電信電話 県内局マルチ op マルチバンド

Callsign	QSO	Pnt	Mlt	Score	Club#	Pw
◎ 1 JH2YIV/2	19	19	13	247	21-1-17	D

★XB1 電信電話 J L 局シングル op マルチバンド

Callsign	QSO	Pnt	Mlt	Score	Club#	Pw
◎ 1 JQ2TJN	13	13	11	143	21-4-34	C

★XC1 電信電話 県内局シングル op マルチバンド

Callsign	QSO	Pnt	Mlt	Score	Club#	Pw
◎ 1 JJ2JQF/1	233	232	122	28,304	21-4-35	C
2 JF4GWA	40	40	34	1,360		C
3 JG2CNS/3	16	16	15	240		C
4 JL2PCI/3	9	9	9	81		D
5 JJ2FQK	2	2	2	4		D
6 JR2JZO	1	1	1	1		D

★XD1 電信電話 県外局シングル op マルチバンド

Callsign	QSO	Pnt	Mlt	Score	Club#	Pw
◎ 1 JF2FIU	47	47	45	2,115		A
2 JH2CMH	39	39	39	1,521		C
3 JA6BIF	17	17	17	289		C
4 JA3WFQ	11	11	11	121		B
5 JA6DH	10	10	10	100		B
6 JA2VHG	7	7	7	49		C
7 JE1MPR/1	6	6	6	36		C

★XD2-3.5 電信電話 県外局シングル op 3.5MHz バンド

Callsign	QSO	Pnt	Mlt	Score	Club#	Pw
◎ 1 JR3AAZ	10	10	10	100		C
2 JN4JJJ	1	1	1	1		C

★XD2-7 電信電話 県外局シングル op 7MHz バンド

Callsign	QSO	Pnt	Mlt	Score	Club#	Pw
◎ 1 JR1CJD/1	11	11	11	121		C
◎ 2 JI3HIY	12	12	10	120		B
◎ 3 JA7ODY	7	7	7	49		B
4 JI6QJX	5	5	5	25		C
5 JA6FXL	4	4	4	16		C
6 JH7KSU	4	4	4	16		B
7 JJ0FSM	4	4	4	16		C
8 JA0ITY	4	4	4	16		C
9 JH0DSX	3	3	3	9		C
10 JR5PPN	3	3	3	9		C
11 JH4EMK	3	3	3	9		B
12 JA1IQK	3	3	3	9		B
13 JI3MCM	2	2	2	4		D
14 JK1BII	1	1	1	1		C
15 JR3KAH	1	1	1	1		D

★XD2-50 電信電話 県外局シングル op 50MHz バンド

Callsign	QSO	Pnt	Mlt	Score	Club#	Pw
◎ 1 JA3EVA	2	2	2	4		D
2 JF3NAO/3	2	2	2	4		D
3 JG2REJ	1	1	1	1		B
4 JH4UTP	1	1	1	1		B

★XD2-144 電信電話 県外局シングル op 144MHz バンド

Callsign	QSO	Pnt	Mlt	Score	Club#	Pw
◎ 1 JF2TGF	8	8	8	64		D
2 JR2TRC	8	8	8	64		D
3 JI2TWX	5	5	5	25		C
4 JH2FOR	3	3	3	9		D
5 JI2QIX	3	3	3	9		C
6 JG1GCO	1	1	1	1		C
7 JQ2WBX	1	1	1	1		D
8 JR2UWC	1	1	1	1		C

★XD4 電信電話 県外局マルチ op マルチバンド

Callsign	QSO	Pnt	Mlt	Score	Club#	Pw
◎ 1 JH2YQB	14	14	14	196		D
2 JI1YUA/1	13	13	13	169		C
3 JQ2UNS	4	4	4	16		D

★XD5 電信電話 県外局 S W L マルチバンド

Callsign	QSO	Pnt	Mlt	Score	Club#	Pw
◎ 1 JA1-22825	20	20	18	360		D

●県内登録クラブ対抗

Number	Club name	Score
◎ 1 21-4-35	三重コンテスターズクラブ	61,911
◎ 2 21-4-34	三重電信会	13,440
◎ 3 21-1-1	桑名アマチュア無線クラブ	2,738
4 21-4-37	三重 2mSSB 愛好会	2,088
5 21-1-17	熊野無線クラブ	247

日本アマチュア無線連盟
三重県支部コンテスト委員会
2008年6月15日

第31回オール三重33コンテストコメント集

[J2YOK]毎年紙ログで提出して申し訳ありません★いえいえお構いなく、どちらでも大丈夫です。

[J2MWH/2QRP]初参加です。アンテナがほとんど東西にしか張れず受信に苦労しました。(相手はもっ?)来年も参加したいと思います。各局ありがとうございます。★QRPでの1.9MHz移動運用おつかれさまでした。次回もぜひきわめて下さい!

[J2SJH]前回は参加できず今回も参加は難しいと思っておりましたが、県内局の参加が少ないとの意見を聞いておりましたので、何とか1時間程度でしたが参加することができました。交信いただいた各局ありがとうございます。★ご協力ありがとうございました!ほんとにありがたいです。しかも7MHzCW1位です。

[J2UMU]VKよりの参加の方(伊勢の方)と交信できてラッキーでした。POORなアンテナと50Wで良く飛んでいったものだと思います。★やっぱり運用技術でしょ。そしていよいよオール三重33DXコンテストに改名か?!

[JA2UOR]GP以外のアンテナを下ろしてしまい、移動運用を考えましたが余りの寒さで断念しました。結局、暖かい我が家からの運用でした。★しばらく真冬の33コンテストでお楽しみ下さい。真冬らしい企画も考えます。抽選でスキ焼き用松阪牛とか?!

[J2TDQ]こんにちは!オール三重33コンテストお疲れ様でした。私は、普段はあまり無線には出ていないのですが、オール三重33コンテストとニューイヤーパーティーは楽しみに出ています。今回のオール三重33コンテストでは、例年より出ている人が少なかったで大変でした。しかも7メガのコンディションも、朝8時頃から11時前くらいまであまりよくなかったため、全然局数が稼げずに困りました。11時過ぎた頃からコンディションも良くなり、沢山の方と交信できて良かったです。交信して嬉しかったことは、最後に「88」と送ってもらえることです。未だにフーンの方で出て「73」と言われます。複雑です笑。でも「88」と言ってくれる人もいてそれが内心とても嬉しかったりします笑。また、今回のように電信だと、私の事(YLだと言うこと)を知っている人でないと「88」を打ってくる人はなかなかいないので、打って貰えると感動ですね。最近中は無線に出る時間も少ないのですが、私の近況としては、楽しい学校生活をおくっています。今年はまだ3年生で、自分でも時間が経つのはとても早いなぁと思っています。今年で無線を初めて8年になると思うとぞっとしますね笑。普通ならば、高校3年生は受験があって大変なのですが、私が行っている学校は、5年制で受験がないので気楽です笑。部活は、柔道部で頑張っているのですが、今年是全国高専体育大会女子柔道48kg級の優勝を目指して頑張りたいと思っています。そして4月に受ける予定の1アマの試験も一発合格したいと思います。(このコンテストの結果発表の頃はどちらも結果が出ていると思いますが。)今年も海外との交信もできたらいいなぁと思っています。★女性専用の「さようなら」があるのはアマ無線だけでしょうね。しかも全世界共通。柔道全国大会はかなり惜しい準優勝と聞いております。1アマは秘密ですね。ガンバレ!

[JR3KQ]現在平日は松阪市に在住しており、県人局として参加させて頂きました。同一局や00局を除いた異なる107局の平均年齢を計算すると何と58歳でした。★計算ありがとうございました!みんな若い若い58歳ですよ。3桁QSO数ありがとうございます。

[JK1SDQ]県人局としてCQが出せるので、捌きの練習を兼ねて積極

的にCQを出した。3局が重なりと取れなくなる程度の実力を反省。当局よりも高年齢の局が予想以上に多かったのに驚く。年齢をコンテスト番号にするのは意外な発見があり楽しかった。★アマ無線とインターネットの違いは匿名か実名かの違いだと思います。QSOを通して相手のことを知るのには楽しいことですよ。3桁QSO数ありがとうございます。

[VK1ANU]JK2VOC局から参加の誘いがあり、滞在中のオーストラリアの首都キャンベラから県人局として参加しました。夜間の部は80mと40mで参加。80mはノイズが多く、交信には至らず。40mではJAの8局、海外の2局と交信。途中でコンディションが悪くなってきたので、DXをワッチしていたら、1月26日がオーストラリア・デーの記念日で、どのVK局も同日に限りAXのプリフィックスで運用できることを日付が替わる30分前に気づき、自分も慌てて特別コールサインAX1ANUでコンテスト以外のCQを出したので、ちょっとだけコンテストから脱線してしまいました。現地の時刻はJSTより2時間進んでおり、夜間の部に時間いっぱい参加したために寝た時間が遅く、朝に寝坊をしてしまいました。食事を済ませた後、20mDPのエレメント延長作業を行い、コンテスト終了までの残り時間15分だけCQを出し、なんとか1局と交信しました。呼んでいただいた皆さんどうもありがとうございました。deVK1ANU(JO2SLZ)★今回はVK1ANU局に当コンテストのスパイスになっていただきました。初DX、初VKの局もあったと思います。本当にありがとうございました!

[J2MV]7MHzCWで17才の方ががんばっていました。感心しました。これからもコンテストにぜひ参加してください。楽しみにしています!★CWでも「88」送ってあげて下さいね!()

[JA1CP]毎年楽しく参加しています。今年もハイバンドの状態が悪く全く感ありませんでした。★サイクル24に期待します。

[JA0DVE]高専の女学生が電信で参加していました。VYFB!!若人のアマチュア無線活性化を促す起爆剤になって欲しいものです。★はい、彼女はとっても強力な起爆剤です。不発どころがってる爆弾みつけたら教えて下さい。

[JA3RS]三重県各局、HNY、TKS、本年もよろしくお願い致します。★よろしくおねがいいたします。

[JA0ADY]電子ログはよく分かりません。ですから、これはテストを兼ねています。祈成功!!!★テスト成功ですよ!JARLコンテストも電子ログで送ってみて下さい。

[JA7DLE]夜の部はローバンドのアンテナが無い状態なので参加できませんでした。昼の部では結構ハイバンドが開けておりましたが、上がって運用なさる局さんが少なかったようです。★レポートありがとうございます。「ハイバンド開けるよー」って教えてあげられるといいですね。

[JA4BDY]二日目だけの参加でした。交信数は少ないのですがログを送ります。★お忙しい中ご参加ありがとうございます!

[JH3JYS]コンテスト委員のみなさま整理集計ご苦労様です。交信数は少なかったけれど楽しく参加させていただきました。来年もまた参加させていただきたいと思っています。★お気遣いありがとうございます。来年もお待ちしております。

[JA7AEM]昨年よりは少しだけ多くできました。★今回は3.5MHzへもご参加いただいていたありがとうございます。

[JA0GZ]諸般の事情でわずか14局とのQSOでしたが、楽しく参加させていただきました。★OMにはお忙しいところ大変恐縮です。

[JA3BOE]初めて参加しました。★初参加ありがとうございます!貴

方はもうこのコンテストの虜です。

[JH4JUK]コンディション悪いのかなかなか交信に至らず少ないですが提出します。★たいへんご苦労いただいた貴重な QSO です。

[J01SIM]終了 1 時間前まではコンディションがいまひとつ・・・、来年はもっとコンディションが良いことを期待します!★必ず良くなるように天照大御神に祈願いたします!

[JN3ANO]各局、交信ありがとうございました。★次回もご参加よろしくお願いたします。

[JA3ATK/5]集計大変ご苦労様です。年齢を 38 と送出してしまいました。送ったあと変だなと思ったのですが、00 でもいいようなので、00 で参加したらよかったかも。★年齢は自称で結構です。実年齢、精神年齢、肌年齢・・・

[JA3RK]JARL NEWS が結果発表を入賞者に限るとか、参加意欲を削ぐような行為には全員入賞にしていでも(HI)抵抗して下さい。★OM のおっしゃるとおりします!

[JA9AJU]集計ご苦労さまです。1 日しか参加できませんでしたが、ログ送りますので宜しくお願いします。★お忙しいところご参加ありがとうございます!

[JF2WME]今回は 7MHz のコンディションが良くなかったので 3.5MHz で参加しました。短時間の参加でしたが県内局の参加が少ないですね!★県内局の参加増のため PR ががんばります。

[JH4RAL/3]いつもお世話になります。今年は、県外から 3.5MHz で参加しました。雪が降る寒い夜でしたが、モービルホイップでも数局と交信ができました。また、機会があれば、県内局で参加したいと思います。★県内局・県外局の増加が課題ですのでご協力願いたします(´>`)

[JE4AE]/1]初めての参加でした。来年も参加したいと思います。★初参加の上、来年のお約束までいただけるなんて JE4AE] 局、いい人。

[JA1COP]ノイズが多くて、聞こえませんでした。★あらら、ご家庭のノイズじゃなくてお空のノイズであることを祈ります。

[JA0GSG]どうにか、参加できました。★お時間を見つけていただいて感謝いたします。

[J11HF]このコンテストとは全く関係ありませんが、告知しておきながらアクティビティーの低い記念局や特別局をどう思いますか?イベントを盛り上げるためにもがんばっていただきたいと思います。Hi★どうしてもボランティアなので無理は言えませんが、待っている人の期待を裏切らないようにがんばってほしいですね。

[JH0QYS/QR]今回は HF 帯のコンディションが悪く、三重県内局の参加が今ひとつ少なかったように感じています。三重県内のクラブ局や JARL 局の積極的参加でコンテストを大いに盛上げて欲しいと思っています!参加証の発行もぜひ検討して頂ければと思います!日曜の朝のコンテスト開始時刻は、冬季間のローバンドの伝搬を考慮して 1 時間早くしても良いかもしれません!★激励入魂ありがとうございます!参加証は検討させていただきます。予算と手間が解決できれば可能です。

[JA1AAT]7MHzCW 聞こえず、3.5MHz2 局 QSO。この次も QRV します。★コンディション悪かったですね。来年に期待願いたします。

[JH2HUQ]何とも悪いお空のコンディションでした。隣の三重県が遠くに感じられました。こんなのもめずらしいですね。来年からはまた・・・期待しています。★「・・・」がとても意味深です。

[JH6WXF]お疲れ様です。ノイズの多い中でしたが三重各局との FB な QSO ができました。有難うございました。★お楽しみいただいて光栄です。

[JF8DSO]初めての参加です。ルール設定が面白く来年も参加しようと思います。★お褒めの言葉ありがとうございます!スタッフのやる気倍増します。

[JG0AXT]Condx 悪かったですね!★来年は大丈夫です!(根拠のない自信)

[JA5HPX]集計ご苦労様です。状況はよくないですが楽しめました。★楽しんでいただけてうれしいです!

[JA1FWY]お世話になります。悪い状態でした。次回に期待します。有難うございました。★7MHz 最悪でしたね・・・

[JA1HIY]今回も有意義な交信出来ました。感謝致します。次回も宜しくお願いします★参加すること以上に意義があつてよかったです!

[JF6RNE]開催ありがとうございます。今年も楽しく参加させていただきました。★こちらこそいつもご参加ありがとうございます。

[JE2XBS]集計ご苦労様です。ほんの少しですが、参加することができました。各局 TKS!★気軽に参加していただけてほんとうにうれしいです。

[7L3EBJ/QR]集計ご苦労様です。QRP にて短時間ですが参加させて頂きました。★7MHzCW QRP おつかれさまです。

[JN1BBO]アンテナの問題か ME 局があまり聞こえませんでした。★ME の問題かもしれません。参加局が少ないので・・・

[JA0FVU]海外から県外局が参加しているとは思いませんでした。★世界に羽ばたく三重県人!たくさんいますよ。がんばれ吉田、野口、小椋、浅尾。

[JA6QQL/2]コンテスト楽しく参加させていただきました。★来年もよろしくお願いたします!

[J13ZOX]クラブ常置場所のアンテナ調整が済み、久し振りに三重コンテストに参加しました。JN3LAE 局は CW に挑戦し、寒いけれど手に汗が出るのと云っておりました。★コンテストはまさに radio sports、オリンピック種目になるとかならないか。

[JA4-4665/1]今回もハイバンド開かず 7MHz も 11 時頃になってやっと開けた状況でした。1.9MHz と 3.5MHz で昨年より受信局数アップし得点を上げることが出来ました。★電離層の元気がなかったですね。

[JA4-37294]電信部門は楽しかったです★効率的でスピーディーな CW コンテストは気持ちいいですね。

[JK2VOC]コンディションが悪くて局数が伸びませんでした。県内局が少なすぎます。多数の県内局の参加を希望すると同時に支部大会でもコンテストの PR もお願いします。★やっぱり VOC 局が支部大会でコンテストの楽しさを説くべきでしょう。今年やります?

[J12SQ]たくさん参加局にお礼申し上げます。もっと三重県内局も参加してもらえるといいのですが。★みんなで盛り上げて下さい!

[JQ2OUL]今年は家族の QRM がひどくてこんな結果に終わってしまいました。けど 6M はかなり静かだったような・・・★ご家族あつての趣味ですからね。ご家族優先で、時間があればコンテストもお願いたします!

[JA2TTH]来年は夕方から始めて早朝の時間帯も入れてはどうかと思います。HF も含めて盛況になるのではと思いますが、いかがでしょうか。それから、JL 局が日曜日しか出られないというのは、何かおかしい・・・★奥様・年少者は健康に気をつけて参加して下さいという部門です。ただ、元気な JL 局は一般部門に参加していただいて結構ですので規約の文言をわかりやすいように変えたいと思います。ご指摘ありがとうございます。

[N4VOX/2]50MHz シングル部門に参加しましたが、夜間帯しか参加しませんでしたので、それなりの局数しか QSO できませんでした。★50MHz シングル部門の存続のためご参加は大変有意義でした。

[Q2GVV]残念、出遅れました★忘れずにご参加いただけたことに感謝いたします。

[Q1OKW/2]今年は県内局と QSO できて良かったです。★ということとは昨年は…ごめんなさい。

[H2YIV/2]集計お疲れ様です。短い時間でしがクラブ局で参加しました。支部大会ではお世話になりました。★紀宝町での三重県支部大会お疲れ様でした！熊野無線クラブ様にはいろいろとお気遣いいただきありがとうございます。

[Q2TJN]必死で CQ を出してもほとんど呼んでくる局がいなくて苦労しました。もっと参加局が増えればいいのと思います。JL 部門でも、1日目の夜の部も開放して欲しいです。夜ふかしといっても、ただか12時までなんです。もし12時が駄目なら20時から22時でも良いです。★JL 局が一般部門に参加していただくのは問題ありませんので、規約の文言をわかりやすく変更しますね。JL 部門は夜更かしできない JL 局のために作りました。

[J2JQF/1]この世とは思えぬ寒さの中の運用でしたがなんとかフル参加！ワイヤーアンテナとモービルホイップのみではまずまずでしょうか。ただ、今年から超強力な県人局が出現！盾は遠くなりそうです…。やはりこの時期の移動運用はきついです。日程、なんとかありませんか？私のコンテストヒストリー(そんなたいしたもんじゃありませんが HI)の入り口だったコンテストで、愛着があり参加はしていきたいのですが、これだけ寒いとギブです。★うわさの超強力局は JQF 局には及びませんでした。日程の件、支部長も問題を認識されておりますので検討を続けます。

[F4GWA] 故郷の皆様にも今年も交信をしていただき難うございました。また県人局として出した CW の CQ に全国から多数応答していただき大変うれしかったです。お礼申し上げますとともに悪い聞き取りと拙いキーイングで御迷惑をかけました。お許しください。もっと CW を練習しないとイケないと痛切に思いました。なお 1.9MHz は自作アパマン用 MicroVert に QRP ですが、弱い信号にもかかわらず取っていただきました皆様に感謝します。このバンドでも届くものなのですね。アンテナを工夫した甲斐がありました。★本コンテストのためにアンテナを工夫してご参加いただきありがとうございます。今後も県人局として盛り上げていただけますと嬉しいです！

[G2CNS/3]集計お疲れ様です。少しだけの交信ですがログを提出します。★少しでもありがたいです。次回もよろしく願います。

[L2PCI/3]集計ご苦労様です。HF 帯 NG、VUHF にて CQ コンテスト発射すれども応答無し。行政の防災無線室にアマチュアバンドのリピーターが設置される時代ですからね！★ブラックですね…アマ無線の活性化のためにコンテスト運営が役になっていると信じてこれからもがんばっていきます。

[R2ZO]残念ながら1局しか QSO できませんでした。★貴重な1局ですね。ありがとうございます。

[F2FIU]初日は「遅刻」でしたが、今年も参加できかつ完走できたのでよかったです。来年も参加したく思いますのでよろしく願います。★完走どころか1位です。おめでとうございます！

[H2CMH]昨年は表彰式へご招待いただきましたが、旧鷲殿村まで行けず大変失礼しました。★今年是多気郡多気町です。ぜひお越し

下さいね。

[A6BIF]楽しいコンテスト有難う御座いました。ただ 県内局がもっと多く出て欲しいですね。★県内参加局の増加策に知恵を絞ります。

[A6DH]14MHz のコンディションが悪くて NG でした。★7MHz 以上はダメでした…

[E1MPR/1]集計ご苦労様です。HF 部門初参加でした。★いろんな部門を楽しんで下さいね。穴場部門もたくさんあります。

[R3AAZ]集計お世話になります。1.9MHz でも5QSO させて頂きましたが、3.5MHz で昨年を上回る10QSO 出来喜んでおります。不備がありましたらお知らせ下さい。★1.9、3.5MHz はコンディションが良かったようです。1位おめでとございます。

[N4JJ]地域の行事と重なり1局しか交信できず残念でした。★忙しい中ありがとうございます！

[J3HIY]初めてログ・サマリーを提出いたします。よろしく、お願いいたします。★初めてなのに2位とはおめでとうございます。

[J6QJX]コンディションに恵まれなかったので残念です★来年はきっと良いはず。

[A0ITY]26日 3.5MHz、7MHz 全然聞こえませんでした。27日 7MHz のみ10時30分過ぎより聞こえました。★3.5MHz もだめでしたか…。レポートありがとうございます。

[R5PPN]今年もお世話になります。最近コンディションが悪くて昼前にやっと入感があり交信できました。3局ですがログを提出しますがお手数ですがよろしく願います。次回も楽しみにしています。★サイクル 23 最低期ですものね。

[A1IQK]なんとか3局と交信できてログを提出します。JARL News にできる限り電子ログ提出となっていたのですが、アドレスが記入されていないため、三重支部 HP を見に行く必要がありつい忘れており、提出が遅くなりました。アドレスを個人でなく支部コンテスト担当等で設定して JARL News に公表を希望します。★ご意見ありがとうございます。大変ご不便をおかけしたようで申し訳ありませんでした。ご助言内容を検討したいと思います。ただ、支部 HP 掲載のものが公式規約であり追加事項も HP に掲載しておりますのでぜひとも HP をご覧の上ご参加をお願いいたします。〈L〉

[F3NAO/3]今回、初参加となります。さすがに1月末の50MHz は閑散そのものでした。コンテスト中、2局としか交信出来ませんでした。ログシート提出致します。集計等の作業、本当にご苦労様です。今後ともよろしく願います。★お気遣いありがとうございます。来年はもっと楽しんでいただけるよう良コンディションを期待いたします。

[F2TGF]昨年より交信局数が増えて満足しました。交信していただいた各局ありがとうございます。来年も子供と一緒に参加します。★親子参加ありがとうございます。お子さんに追い越されないようにね。

[R2TRC]電子ログで提出しました。2局取りこぼし、でも1位ではないでしょうか。★1位と同点でしたが終了時間の違いで2位でした。もう1局あれば…

[H2FOR]26日は出遅れまして27日にやっと少し QSO できました。参加できてよかったです。★土曜日夜8時開始はみなさんお忙しいようです。開催時間も検討します。

[J2QIX]QSO 各局、また何処かでお会いしましょう。★いやいや来年の33コンテストで再開して下さいよお

[G1GCO]県人局の方が CQ を出しておりなんとか QSO できました。県人局というのはおもしろいカテゴリーですね。★某有名コンテストの

アイデアです。地方コンテストには最適ですよ。特許は取ってないのでマネして下さい。

[JQ2WBX]初めての参加で1局と交信するだけでも大変でした。小学4年生、来年はもっと交信局数を増やしていきたいです。お父さんと一緒に参加でき良かった。★来年はお父さんを追い越すんだ！応援してますよ。

[JQ2UNS]今年からコンテスターになろうかと思いましたがサービス局として出ました。★来年は本格的にお願いします！

[JA1-22825]今年も参加できてうれしく思います。期待していた1.9MHzはほとんど聞こえず。2日目、早朝から3.5MHzが良好なるも7MHzは完全にスキップ。7MHzがまともに聞こえるようになったのは9時をだいぶ過ぎてからでした。PHONEが寂しい??★レポートありがとうございます。来年もよろしくお願ひいたします。

★★★第31回オール三重33コンテストにご参加いただきありがとうございました。

●参加150局を目標にPRに努めてまいりましたが、今回は7MHz以上のバンドがほとんど開けないというコンディションの悪い中、153局のご参加をいただきました。今後も県内局の参加局数を増加できるように努力を続けて参ります。

●平成20年11月2日(日)多気町で行われる三重県支部大会で入賞者への表彰、優勝楯の贈呈を行いますのでご出席下さい。

●第32回オール三重33コンテストは平成21年1月24-25日に開催いたします。ご近所お誘い合わせの上ご参加くださいませ。規約、結果の発表や、コンテストについてのご質問、ご意見などの受付もJARL三重県支部ホームページ上で行っていますのでご利用ください。
(<http://www.jarl.com/mie/>)

JARL 三重コンテスト委員会
支部長 増田晴生 JA2KZM
委員長 磯田憲一 JE2MDE

平成20年9月13日初版
平成20年9月14日修正

編集後記

毎年のことであるが、この時期になるとアマチュア無線の大会と仕事のピークが重なり本当につらいものがある。しかし、支部の最大行事とあって実行委員をはじめ関係の方々は、本当によくやって頂くので有り難い。今年は、広く出展者を募りブースはバラエティに富んでいる。昨年にも負けない入場者数を期待するのは実行委員全員の正直な気持ちであると思う。

新しい出会いとそれを続けることの大切さ・・・・・・・・

最近よく耳にするのが若者のアマチュア無線離れである。しかし考えてみれば、彼らは生まれた時からコンピュータが身近にあり、インターネットが自由に使用できる環境なのである。いくら古典的なアマチュア無線を勧めても良さを理解させるには時間が掛かる。逆のことが我々にも言える。若い人のようにキーボードを自由自在に打つことが出来ないで古いアマチュア技術にこだわる人が多いのではないのでしょうか？ 少し考えを変えてみてはどうでしょう。この支部大会では最近のコンピュータを使用した音声通信を紹介し、少なくとも窓口だけでも設けて若い人が魅力を感じるアマチュア無線の世界をスタートさせてはどうでしょう。その中から、一部の人が古典的な本来のアマチュア無線通信に興味を持てば、時間がかかるけれど結果的にはアマチュア人口の増大に繋がります。

仲間を増やそうと思えば、その人たちの目線に立って物事を考える。古い技術や高級な話をしても彼らには自慢話としか映らないはずです。また同時に継続させることもしっかりと大人が手本を示さなければ本当の良さが伝わらないのも事実です。下の写真にあるように、夜が明ける時には、最初は目だったものしか見えてないけど太陽が昇るにつれ詳細に色々なことが見えて来る。アマチュア無線も同様のことが言えるはずです。人との出会いも全く同じです。相手の良さも付き合う年数を重ねるとよく分かります。



今年の東海地方本部会議が開催された鳥羽市国崎町漁港での日の出風景 (JR2MHV)

発行：日本アマチュア無線連盟
三重県支部
平成20年11月2日 (2008)

発行人：増田晴生 (JA2KZM)
編集人：富岡 巧 (JR2MHV)

